

観光協会および観光関連団体

(一財)沖縄観光コンベンションビューロー (OCVB)	〒901-0152 沖縄県那覇市小禄1831-1 (沖縄産業支援センター2階) http://www.ocvb.or.jp	☎098-859-6123 ㊟098-859-6221
OCVB東京事務所	〒100-0006 東京都千代田区有楽町2-10-1 (東京交通会館3階)	☎03-5220-5311 ㊟03-5220-9720
那覇空港観光案内所	〒901-0142 沖縄県那覇市鏡水150 (那覇空港国内線旅客ターミナルビル1階) (年中無休/9:00~21:00)	☎098-857-6884 ㊟098-857-9058
沖縄県文化観光スポーツ部 観光振興課	〒900-8570 沖縄県那覇市泉崎1-2-2 http://www.pref.okinawa.jp	☎098-866-2764 ㊟098-866-2765
沖縄県東京事務所	〒102-0093 東京都千代田区平河町2-6-3 (都道府県会館10階)	☎03-5212-9087 ㊟03-5212-9086
沖縄県大阪事務所	〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田1-1-3-2100 (大阪駅前第3ビル21階)	☎06-6344-6828 ㊟06-6346-1784
沖縄県名古屋情報センター	〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄4-16-36 (久屋中日ビル5階)	☎052-263-3618 ㊟052-263-3619
一般社団法人 伊江島観光協会	〒905-0503 沖縄県伊江村川平519-3 https://iejima.okinawa/	☎0980-49-3519 ㊟0980-49-3529
一般社団法人 本部町観光協会	〒905-0212 沖縄県本部町字大浜881-1 http://www.motobu-ka.com	☎0980-47-3641 ㊟0980-47-3412
公益財団法人 名護市観光協会	〒905-0017 沖縄県名護市中大1-19-24 (名護市産業支援センター1階) https://nagomun.or.jp/	☎0980-53-7755 ㊟0980-52-1797
NPO法人 東村観光推進協議会	〒905-1204 沖縄県東村字平良890-1 https://higashi-kanko.jp/	☎0980-51-2655 ㊟0980-51-2656
一般社団法人 恩納村観光協会	〒904-0411 沖縄県恩納村字恩納5973 https://www.onnnavi.com/	☎098-966-2893 ㊟098-966-2892
一般社団法人 北谷町観光協会	〒904-0115 沖縄県北谷町字美浜16-2 北谷町美浜メディアステーション2階 http://www.chatan.or.jp/	☎098-926-5678 ㊟098-926-5679
一般社団法人 沖縄市観光物産振興協会	〒904-0031 沖縄県沖縄市上地1-1-1 (コザミュージックタウン1階) http://www.koza.ne.jp/	☎098-989-5566 ㊟098-989-5567
一般社団法人 うるま市観光物産協会	〒904-2203 沖縄県うるま市川崎468 いちい具志川じんぶん館2階 http://uruma-ru.jp/	☎098-989-1148 ㊟098-989-1149
一般社団法人 読谷村観光協会	〒904-0302 沖縄県読谷村字喜名2346-11 (読谷村地域振興センター1階) http://www.yomitan-kankou.jp	☎098-958-6494 ㊟098-979-6558
一般社団法人 宜野湾市観光振興協会	〒901-2223 沖縄県宜野湾市大山7-10-27 宜野湾マリン支援センター1階 https://ginowan.info	☎098-897-2764 ㊟098-897-0769
一般社団法人 浦添市観光協会	〒901-2122 沖縄県浦添市勢理客4-13-1 (浦添市産業振興センター 結の街4階) http://www.urasoenavi.jp/	☎098-874-0145 ㊟098-917-0874
一般社団法人 那覇市観光協会	〒900-0013 沖縄県那覇市牧志3-2-10 (てんぶす那覇3階) http://www.naha-navi.or.jp/	☎098-862-1442 ㊟098-880-6893
一般社団法人 豊見城市観光協会	〒901-0225 沖縄県豊見城市字豊崎1-1162 http://www.tomigusuku-okinawa.jp	☎098-856-8766 ㊟098-851-8830
一般社団法人 糸満市観光協会	〒901-0306 沖縄県糸満市西崎町4-20-4 http://www.okinawa-itoman.jp/	☎098-840-3100 ㊟098-987-1278
一般社団法人 南城市観光協会	〒901-1511 沖縄県南城市知念字久手堅541 (がんじゅう駅・南城内) http://okinawa-nanjo.jp/	☎098-948-4611 ㊟098-948-4644
一般社団法人 南風原町観光協会	〒901-1112 沖縄県南風原町字本部158 http://www.haebaru-kankou.jp/	☎098-851-7273 ㊟098-851-7109
一般社団法人 粟国村観光協会	〒901-3702 沖縄県粟国村字東1142 http://aguni-kankou.jp/	☎098-896-5151 ㊟098-896-5161
一般社団法人 座間味村観光協会	〒901-3402 沖縄県座間味村字座間味95 (座間味離島振興総合センター2階)	☎098-987-2277 ㊟098-987-2278
渡嘉敷村商工会	〒901-3501 沖縄県渡嘉敷村字渡嘉敷346 http://www.tokashiki.or.jp/	☎098-987-2430 ㊟098-987-2798
一般社団法人 久米島町観光協会	〒901-3124 沖縄県久米島町字仲泊966-33 (あじま一館内) http://www.kanko-kumejima.com	☎098-896-7010 ㊟098-896-7075
一般社団法人 宮古島観光協会	〒906-0012 沖縄県宮古島市平良字西里187 (2階) http://www.miyako-guide.net	☎0980-73-1881 ㊟0980-73-0955
一般社団法人 石垣市観光交流協会	〒907-0013 沖縄県石垣市浜崎町1-1-4 (石垣市商工会館1階) http://www.yaeyama.or.jp/	☎0980-82-2809 ㊟0980-83-6296
竹富町観光協会	〒907-0012 沖縄県石垣市美崎町1-5 (2階) http://painusima.com/	☎0980-82-5445 ㊟0980-82-5472
与那国町観光協会	〒907-1801 沖縄県与那国町字与那国437-17 (与那国町複合型施設内1階)	☎0980-87-2402 ㊟0980-87-2445

バリアフリー旅行コーディネートサービス

ハンディキャップをお持ちの方も沖縄での修学旅行が楽しめるよう、障がいレベルにあった旅程やサポートを提案します。
各種サービスについては、直接お問い合わせください。

■ 一般社団法人Kukuru(くるる)

TEL 098-859-8768 http://www.kukuruokinawa.com/
滞在中の病院探しのお手伝い、介護タクシーの手配、同行介護サービスなど

■ バリアフリーネットワーク会議

TEL 098-929-1140 http://barifuri-okinawa.org/bfn/
手助けを必要とする方たちの余暇活動を包括的に支援

■ 沖縄バリアフリーツアーセンター

TEL 098-858-7760 http://barifuri-okinawa.org/BFourcenter/
バリアフリー観光案内サービス、介護タクシーやレンタカー手配、入浴介助など



沖縄県の教育旅行民泊について

沖縄県では教育旅行民泊の取扱指針を制定しました。詳しくはホームページをご確認ください。
http://www.pref.okinawa.jp/site/bunka-sports/kankoshinko/yuchi/minpakushishin.html



※掲載した情報は、令和3年10月現在のものです。詳細につきましては、各施設・団体へお問い合わせください。
※許可なく、転載・複製することを禁じます。(初版 2018.10)



触れて 感じて 学べる

おきなわ 修学旅行 NAVI

Let's go to Okinawa!

ここに届く リアルなマナビ

School . Class . Name .

Be. Okinawa

沖縄県 OCVB

おきなわ修学旅行ナビ

検索

https://education.okinawastory.jp

- 沖縄情報
- 自然環境
- 文化
- 歴史
- 平和
- 産業

修学旅行ナビの使い方

この修学旅行ナビをうまく活用して、多くのワクワクや感動体験をしよう。

NAVI
1

沖縄での修学旅行が大切な思い出になるように…

修学旅行ナビは、好奇心を引き出し、出発前に沖縄の歴史や文化を学ぶ、修学旅行をサポートする資料です。修学旅行がステキな思い出となるよう、ぜひ活用しよう。

NAVI
3

自主研修プラン作りに取り組もう

班のメンバーと1つのテーマを共有しながら、好奇心や探究心を持って行動することが大切です。修学旅行ナビを参考にしながら事前にプランを作り、準備万全にして取り組もう！

NAVI
2

自主研修をもっと楽しもう

日常生活にはない新しい発見や感動、友情を深めること、美味しいものを食べることも、修学旅行の楽しみです。そのような機会がたくさん得られるようにしっかりとプランを立てよう。

NAVI
4

役に立ちそうな項目だけ利用してもOK！

修学旅行ナビを初めから読み進めても、また興味がわいた分野のページから読んでもOK。自主研修プランのために利用しよう。また先生の指示にしたがって活用しよう。

Make
a plan

自主研修(班別研修)プランって、どう進めるの？

班のメンバーと協力して、オリジナルのテーマを決めて、具体的な自主研修プランを作ろう！きっと充実した旅行になるよ。

STEP.1

事前学習をしよう

まずは**沖縄のことを学習して、知りたいこと、疑問に思うこと、体験したいこと**などを自分の視点から探してみよう。

STEP.3

自主研修プラン作り

テーマが決まったら、それに関する下調べをしよう。
また、**候補地のリスト**を作り、その**場所や移動時間**などを把握しよう。

STEP.5

まとめ

事前学習から自主研修後までのことを整理しよう。
修学旅行での思い出を、**日誌や写真**を見ながら書き出してみよう。

STEP.2

テーマ検討の準備

班のメンバーが決まったら、一人ひとりが**自主研修のテーマ**にしたいことについて意見をかわし、みんなでテーマを決定しよう。

STEP.4

自主研修当日

いよいよ**計画したプラン**を元に、自主研修スタート！
気づいたこと、体感したこと、思ったことなどを**日誌**に書き留めよう。

STEP.6

発表

まとめたものに、**成果**を書いてみよう。また、**自己評価や班のメンバーからの評価**についても話し合い、発表会に向けて準備をしよう。

自然環境

サンゴ礁の海に亜熱帯の森、珍しい動植物が生息する沖縄。豊かな自然を観察しながら環境問題も考えてみよう。

文化

伝統工芸、祖先崇拝、食文化など、沖縄には本土とは異なる独特の風習や文化があります。沖縄文化を体験しよう。

歴史

琉球王国の時代、沖縄戦、米国統治を経て本土復帰へ。激動の時代を歩んだ歴史を知り、理解を深めよう。

平和

多くの県民が犠牲となった沖縄戦。同じ過ちを繰り返さないために沖縄戦を通して平和を考えてみよう。

産業

農業や漁業をはじめ訪れる人をもてなす観光業など沖縄の産業について学んでみよう。

おきなわ修学旅行NAVI

触れて 感じて 学べる

Let's go to Okinawa!

CONTENTS

沖縄情報

沖縄県ってどんなところ？	2
沖縄本島・離島のエリア情報	4
本島南部・那覇エリア／本島中部エリア／本島北部エリア／宮古エリア／八重山エリア／本島周辺離島エリア	

自然環境

かけがえのないサンゴ礁の海	10
亜熱帯の森は生物の宝庫	12
自然環境スポット	14

文化

暮らしに根づく旧暦文化	16
外国の影響を受け育まれた食文化	17
琉球王国時代から受け継がれる伝統芸能	18
伝統を守りながら進化する工芸品	19
文化スポット	20

歴史

琉球王国 一独自の文化を築いた王国	22
太平洋戦争 住民を巻き込んだ沖縄戦	24
米国統治 日本への復帰から現在	26
歴史スポット	28

平和

沖縄の平和について学ぼう	30
沖縄県平和祈念公園ってどんなところ？	31
地域・平和ガイド等一覧	32
平和スポット	33

産業

特有の気候や自然が育む産業	34
沖縄県の暮らしを支える観光業	35
物流・IT・科学技術の拠点を目標して	36
産業スポット	37

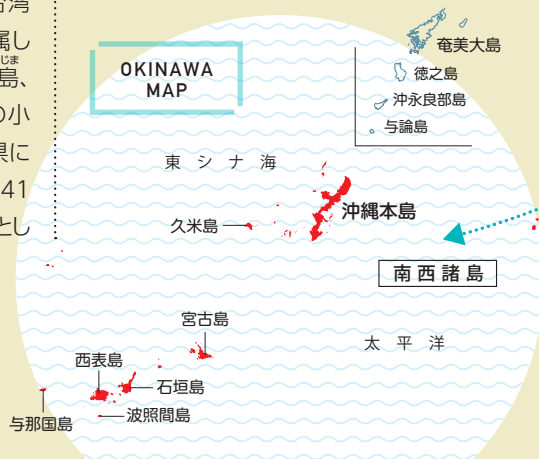
テーマ別体験モデルコース	38
--------------	----

Q どのくらいの大きさ？

A 全国で4番目に小さい県です。

沖縄県の総面積は2,280.98km²(国土地理院、平成29年)で、香川県、大阪府、東京都に次いで全国で4番目に小さいのですが、東京都を中心に東北から中国地方までを覆ってしまうほど広大な県域を持っています。九州と台湾の間に弓なりになった南西諸島に属しており、沖縄本島、宮古島、石垣島、西表島の4つの大きな島と約160の小さな島で構成されています。沖縄県には、県庁所在地の那覇市をはじめ、41の市町村があります。那覇市を中心とし

た半径1,500kmの圏内には、上海や台北、香港、ソウル、マニラなど、アジアの主要都市があり、沖縄は中国や東南アジアなどに最も近い距離にある日本の南の玄関と言えます。



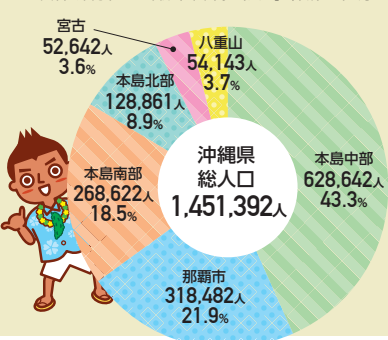
Q 人口はどのくらい？

A 人口約145万人、出生率は全国1位です。

沖縄県の人口は、太平洋戦争前は50万人台でしたが、戦争で大きな被害を被ったため激減してしまいました。しかし、その後年々増加し、昭和47年の日本復帰時には約96万人、昭和49年には100万人を突破、平成31年には約145万人となっています。また、平成27年の厚生労働省の調べでは、平均寿命は女性87.44歳、男性80.27歳、人口1,000人あたりの出生率は11.9(全国1位)となっています。

● 地区別人口の割合

資料：沖縄県企画部統計課「県推計人口」(平成31年3月1日現在)



慶良間諸島国立公園

Q どんな気候、自然環境なの？

A 平均気温23.1℃、亜熱帯の自然豊かな島です。

亜熱帯海洋性気候に属する沖縄県は、サンゴ礁の美しい海に囲まれた自然豊かな島です。特に多くの固有生物が生息する県北部のやんばる地域や西表石垣地域、慶良間諸島は国立公園にも指定されています。年平均気温 23.1℃

と一年を通して温暖で、国内屈指のリゾート地としても人気です。春から夏にかけては比較的雨量が多く、夏から秋には熱帯低気圧の通過路となって毎年数回の台風が来襲します。

● 那覇市の気象

資料：気象庁「統計期間1981-2010」

事 項	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平均気温	17.0	17.1	18.9	21.4	24.0	26.8	28.9	28.7	27.6	25.2	22.1	18.7
最高気温平均	19.5	19.8	21.7	24.1	26.7	29.4	31.8	31.5	30.4	27.9	24.6	21.2
最低気温平均	14.6	14.8	16.5	19.0	21.8	24.8	26.8	26.6	25.5	23.1	19.9	16.3
月平均降水量(mm)	107.0	119.7	161.4	165.7	231.6	247.2	141.4	240.5	260.5	152.9	110.2	102.8

と一年を通して温暖で、国内屈指のリゾート地としても人気です。春から夏にかけては比較的雨量が多く、夏から秋には熱帯低気圧の通過路となって毎年数回の台風が来襲します。

資料：気象庁「統計期間1981-2010」

事 項	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平均気温	17.0	17.1	18.9	21.4	24.0	26.8	28.9	28.7	27.6	25.2	22.1	18.7
最高気温平均	19.5	19.8	21.7	24.1	26.7	29.4	31.8	31.5	30.4	27.9	24.6	21.2
最低気温平均	14.6	14.8	16.5	19.0	21.8	24.8	26.8	26.6	25.5	23.1	19.9	16.3
月平均降水量(mm)	107.0	119.7	161.4	165.7	231.6	247.2	141.4	240.5	260.5	152.9	110.2	102.8

Q 独自の歴史や文化があるの？

A 琉球王国時代から

諸外国の影響を受け、独自の文化を育みました。

沖縄県はかつて「琉球王国」という独立した国家で、中国をはじめ、日本、朝鮮、東南アジア諸国などとの交易によって繁栄しました。そのため、食文化や芸能、工芸、武道など、各国の影響を受けながら独自の琉球文化を形成していきました。また、戦後は27年間もアメリカの統治下に置かれていたため、町並みやグルメなどにアメリカ文

化の影響を感じることができます。

このような歴史的背景によってさまざまな外国文化を融合させてきた沖縄文化は、いろいろな素材を混ぜ合わせて炒める沖縄料理「チャンプルー」になぞらえ、「チャンプルー文化」とも呼ばれています。



p16~、22~をチェック！



首里城



空手



沖縄そば



紅型

Q 産業の特徴は？

A 観光業が中心で年間約1,000万人の観光客が訪れています。

沖縄県の産業の特徴は、第3次産業と第2次産業の建設業の割合が高いことです。第3次産業の中心は観光業で、令和元年の入域観光客数は1,000万4,300人と過去最高を記録しています。第1次産業の農業は、ランや菊などの花き栽培、ゴーヤーやマンゴーなどの野菜・果物生産が盛んです。漁業はカツオやマグロ漁のほか、もずくは日本

一の生産量を誇ります。畜産では豚や肉用牛が出荷されています。

沖縄県は本土と海を隔てた島嶼県であるため、市場が限られている、物流コストが割高になるなど、他県に比べハンデがあるのも実情です。

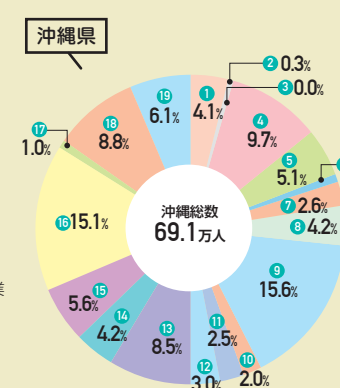
p34~をチェック！

● 産業別就業者の構成比

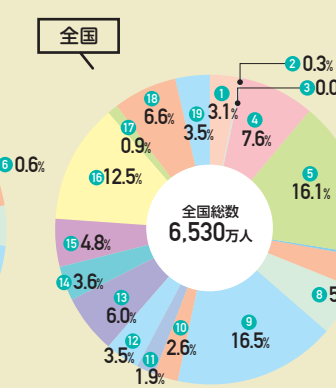
資料：総務省統計局 労働力調査(平成29年)

- 1 農業、林業
- 2 漁業
- 3 鉱業、採石業、砂利採取業
- 4 建設業
- 5 製造業
- 6 電気・ガス・熱供給・水道業
- 7 情報通信業
- 8 運輸業、郵便業
- 9 卸売業、小売業
- 10 金融業、保険業
- 11 不動産業、物品賃貸業
- 12 学術研究、専門・技術サービス業
- 13 宿泊業、飲食サービス業
- 14 生活関連サービス業、娯楽業
- 15 教育、学習支援業
- 16 医療、福祉
- 17 複合サービス業
- 18 サービス業(他に分類されないもの)
- 19 公務(他に分類されるものを除く)

注：グラフは分類不能の産業を除く。ただし、全産業の就業者総数には、分類不能の産業を含む。

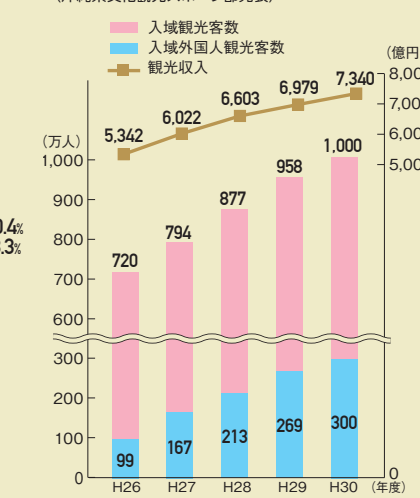


製造業の割合が低く、サービス業の割合が高いんだね



● 入域観光客数と観光収入の推移

(沖縄県文化観光スポーツ部発表)



沖縄本島の離島エリア情報

北部 中部 南部・那覇
宮古 八重山 本島周辺離島



沖縄美ら海水族館

沖縄の海を再現した水族館。巨大なアクリルパネルの水槽「黒潮の海」では世界で初めてジンベエザメとナンヨウマンタの複数飼育に成功しており、そのスケールに圧倒される。

本島北部エリア

沖縄本島の北部地域は山や森が多く、山原（やんばる）と呼ばれています。その3分の1を占めるのが亜熱帯の森。沖縄には国指定の天然記念物が45種類、県指定の天然記念物が53種類あり、貴重な動植物の宝庫でもあります。（2013年3月現在）



ヤンバルクイナ

やんばる地域だけに生息する飛べない鳥。1981年に新種として発表され、翌年には国の天然記念物に指定。開発や外来生物マングースと野生化したネコによる捕食等の原因により絶滅危機に。

ハーリー

ハーリーとは、漁師が海の恵みに感謝し、航海の安全や豊漁を願って行われる伝統行事のこと。旧暦の5月4日に県内各地の漁港で行われ、爬龍船（はりゅうせん）という船に乗って競い合う。

本島南部・那覇エリア

沖縄本島南部は、戦時中の激戦地として多くの戦跡や慰霊碑があると共に、琉球の歴史を漂わせる遺跡が多く点在しています。中でも那覇市の首里城公園や識名園などの琉球王朝文化が見所として残っています。

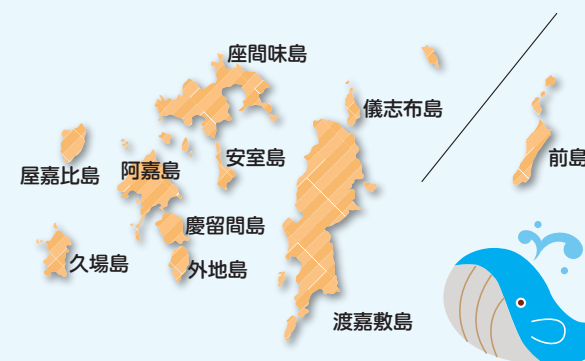
本島周辺離島エリア

阿嘉島 ●粟国島 ●伊江島 ●伊是名島 ●伊平屋島
●北大東島 ●久高島 ●慶留間島 ●座間味島 ●津堅島
●渡嘉敷島 ●渡名喜島 ●野甫島 ●南大東島 ●水納島

本島周辺には個性的な島々が点在。琉球王国時代からの神事が強く伝わる久高島や世界有数のマリンスポットとして有名な慶良間諸島などが代表。船や飛行機で本島から気軽にアクセスできるのも魅力。

慶良間諸島

渡嘉敷島、座間味島、阿嘉島、慶留間島の4つの有人島を中心に構成されており、周辺海域はラムサール条約湿地に登録されている。2014年には、慶良間諸島が国立公園に指定された。世界でも有数の透明度を誇る海は、ダイビングやホエールウォッチングのポイントとして人気が高い。



久米島

全体が県立自然公園に指定されており、宇江城岳の渓流及び湿地がラムサール条約に登録されています。

宮古エリア

●宮古島 ●池間島 ●来間島
●伊良部島 ●下地島 ●大神島
●多良間島 ●水納島

北に池間島、南に来間島と橋で渡れる島があります。2015年には西の伊良部島にも伊良部大橋が架かり、島民の生活が便利になりました。国の重要無形文化財に指定されている宮古上布は、代表的な伝統工芸です。

パーントゥ

宮古島北部・島尻地区に伝わる伝統行事。集落の若者が仮面をかぶり、体中に泥を塗って神の化身となる。その泥を集落中の人々や新築住宅に塗り付け、厄を払い、無病息災を願う祭り。

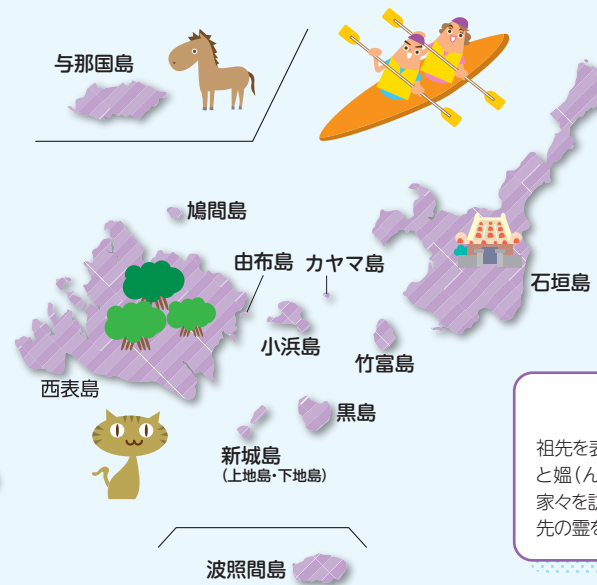
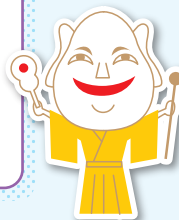
八重山エリア

●石垣島 ●竹富島 ●西表島 ●鳩間島 ●由布島 ●小浜島
●黒島 ●新城島 ●波照間島 ●カヤマ島 ●与那国島

石垣島、西表島、与那国島などで構成される八重山諸島は、まだ多くの自然が残っています。石垣島南西部の名蔵アンバルはラムサール条約に登録されており、西表島には、特別天然記念物のイリオモテヤマネコが生息しています。

ミルク

沖縄本島と八重山地域で親しまれているミルクは、海の向こうから五穀豊穡、幸福をもたらすとして崇められている神。ミルクの名前の由来は弥勒菩薩（みるくぼさつ）と言われている。



アンガマ

祖先を表すと言われる翁（うしゅまい）と媼（んみ）の仮面をつけた二人が家々を訪問し、珍問答や踊りなどで祖先の霊を供養する独特の行事。

本島南部・那覇エリア

琉球、沖縄の歴史が凝縮した場所

沖縄の玄関口である那覇市を含む本島南部は、歴史的文化遺産の宝庫です。その一方で、沖縄戦最後の激戦地でもあり、数多くの戦跡も点在します。



沖縄のメインストリート「国際通り」

那覇市にある国際通りは、戦後復興のシンボルとして繁栄を遂げた「奇跡の1マイル」として知られています。名前の由来は通りの中心部にあったアーニーパイル国際劇場。全長約1.6kmの道路で、1953年に改修が始まり、数多くの店が軒を連ねる一大繁華街となりました。現在はお土産物店を中心に、デパート、飲食店など幅広いジャンルの店が立ち並んでいます。周辺地区も個性的な通りがあり、アーケード街となっている平和通りは、お土産品店や日用品店が連なり、奥に入ると庶民の台所・牧志公設市場があります。また、平和通りにほど近い壺屋のやちむん通りは、石畳が続く長閑な街並を散策しながら、沖縄のやちむん(焼き物)の歴史に触れることができます。



国際通り



第一牧志公設市場の魚介類

琉球王国の王都として栄えた首里

首里は栄華を誇った琉球王国の王都で、多くの文化財があります。なかでも首里城は15世紀中ごろに建てられたといわれ、王の居城であり、王国の政治を行う役所でした。中国と日本の建築様式が取り入れられた造りで、戦前には正殿などが国宝に指定されましたが、戦争で焼失。1992年に沖縄の本土復帰20周年を記念して、正殿や主要な建物が復元されました。2000年には残った城郭(石垣)や遺構が「首里城跡」として世界遺産に登録されました。



琉球王国時代の面影を残す石畳道



ニライ橋・カナイ橋

沖縄戦最後の激戦地

第二次世界大戦末期の1945年3月26日に慶良間諸島に上陸した米軍は、4月1日には沖縄本島中部に上陸。北部と中・南部を分断し、日本の主力部隊を本島南部に追い詰め、行き場を失った住民も日本軍と行動を共にしました。その後、3ヵ月近くにわたり、激しい地上戦が繰り広げられ、軍民合わせて20数万人が犠牲となりました。

地上戦の激しさを物語るよう、沖縄には今もなお数多くの戦跡が残り、戦争の悲惨さや平和の大切さを訴える資料館があります。館内では証言映像や写真、手記、遺品などを見ることができます。また、住民や日本軍が避難した壕やガマ(自然洞窟や防空壕)では、集団死があった場所もあり、県内では暗闇の世界を実体験できるガマも残されています。



平和の礎

本島南部・那覇エリアのミュージアム

- 旧海軍司令部壕
Tel. 098-850-4055
休館日：無
- ひめゆり平和祈念資料館
Tel. 098-997-2100
休館日：無
- 沖縄平和祈念堂
Tel. 098-997-3011
休館日：無
- 沖縄県平和祈念資料館
Tel. 098-997-3844
休館日：年末年始
- 八重瀬町立具志頭歴史民俗資料館
Tel. 098-835-7500
休館日：月曜(祝日の場合は火曜)・祝日の翌日・慰霊の日・年末年始
- 沖縄県公文書館
Tel. 098-888-3875
休館日：月曜・祝日・慰霊の日・年末年始
- 沖縄県立博物館・美術館
Tel. 098-941-8200
休館日：月曜(祝日の場合は翌日)・年末・消毒休館(要問合せ)
- 那覇市ぶんかテンプス館
Tel. 098-868-7810
休館日：第2・4月曜(祝日の場合は翌日)・年末年始
- 那覇市立壺屋焼物博物館
Tel. 098-862-3761
休館日：月曜・年末年始・臨時休館有(要問合せ)
- 対馬丸記念館
Tel. 098-941-3515
休館日：木曜・年末年始
- 福州園
Tel. 098-869-5384
休園日：水曜(祝日の場合は翌日)

本島中部エリア

異文化と交差した街は、独特の雰囲気

沖縄本島の中部地域には米軍基地が集中しています。アメリカナイズされた文化と昔から残る街並が交差した、国際色豊かな地域です。

米軍基地が集中

全国の米軍専用施設の約74%が沖縄にあり、中でも本島中部は地域面積の約4分の1が米軍基地です。極東最大の米空軍基地・嘉手納基地をはじめ、いくつもの基地が存在し、軍用機の爆音や、軍人・軍属による事件、事故の発生も大きな社会問題となっています。



米軍基地



コザ・ミュージックタウン

チャンプルー文化の誕生

古くから中国や日本の文化を取り入れたり、戦後のアメリカ文化に触れるなど、沖縄は異文化と接し、影響を受けてきました。それらを柔軟に取り入れて生み出されたのが「チャンプルー文化」です。チャンプルーとは沖縄の方言で「混ぜ合わせる」という意味です。

本島中部エリアのミュージアム

- うるま市立石川歴史民俗資料館
Tel. 098-965-3866
休館日：月曜(祝日の場合は翌日休館)・祝日・年末年始
- 浦添市美術館
Tel. 098-879-3219
休館日：月曜(祝日の場合は開館)・年末年始
- 世界遺産座喜味城跡コナンザミュージアム
Tel. 098-958-3141
休館日：水曜(祝日の場合は開館し、翌日以降に振替休館あり)・年末年始・その他臨時休館あり
- 沖縄市立郷土博物館
Tel. 098-932-6882
休館日：月曜・祝日・年末年始・慰霊の日
- 宜野湾市立博物館
Tel. 098-870-9317
休館日：火曜・祝日・年末年始(慰霊の日、文化の日は開館)

本島北部エリア

豊かな自然に癒される

本島北部は「山原(やんばる)」と呼ばれ、熱帯の木々が生い茂る森は希少な生き物たちの宝庫です。ナンバーワンの人気観光地「沖縄美ら海水族館」があります。



やんばるの豊かな自然

固有種がすむやんばるの森

「やんばる」と呼ばれるエリアの中で、国頭村、東村、大宜味村は降水量が多く、湿度も高いことから、常緑の広葉樹林が多く、森には多様な動植物の他、絶滅危惧種も多く生息しています。やんばるでしか見られない固有種が多いのも特徴です。

人気スポット「沖縄美ら海水族館」

本部町にある沖縄美ら海(ちゅらうみ)水族館では、全長8.8mのジンベエザメやナンヨウマンタをはじめ、大型回遊魚が泳ぐ巨大水槽「黒潮の海」が人気。水族館全体で約720種、11,000点もの海の生き物たちが飼育され、深海の生き物やサンゴも見ることができます。



沖縄美ら海水族館

本島北部エリアのミュージアム

- 本部町立博物館
Tel. 0980-47-5217
休館日：月曜・祝日・年末年始
- 今帰仁村歴史文化センター
Tel. 0980-56-5767
休館日：無
- 大宜味村立芭蕉布会館
Tel. 0980-44-3033
休館日：日曜・旧盆・年末年始
- 東村立山と水の生活博物館
Tel. 0980-51-2828
休館日：月曜・祝祭日・慰霊の日・年末年始
- 恩納村博物館
Tel. 098-982-5112
休館日：月曜(祝日の場合は翌日休館)・祝日・年末年始・慰霊の日翌日

宮古エリア

県内屈指の美しい海

世界有数の透明度を誇る海が広がり、農業や漁業が盛んな人情味あふれる島です。全日本トライアスロン宮古島大会などのスポーツイベントでも有名です。

海の楽しみいろいろ

沖縄本島から南西へ約290kmの地点にある宮古島。その海の美しさは、世界トップクラスといわれています。島を取り囲むようにビーチが点在し、パウダースノーのような白砂が特徴です。毎年海外からも多くの参加者が集まる全日本トライアスロン宮古島大会では、与那覇前浜ビーチの水泳から競技を開始するため、その海の美しさは国内外に知られるようになりました。



与那覇前浜ビーチ

た。また、ダイビングスポットとしても人気を集め、透明度抜群の海を楽しむ観光客が数多く訪れます。

宮古島は農業も盛んで、人気の高い農産物としてマンゴーが挙げられます。その高い品質から、高級ブランドとして全国的に流通しています。

国内最長の「伊良部大橋」開通

2015年1月、宮古島と隣りの伊良部島をつなぐ、伊良部大橋が開通しました。無料で渡れる橋としては国内でもっとも長く、3,540mもあります。

これまで船で行き来するしかなかった伊良部島では橋の開通により、島民の通院や通学の負担が軽くなりました。伊良部大橋ができたことにより、宮古島を含む、周



砂山ビーチ

囲の5つの島と陸路でつながりました。



伊良部大橋

宮古エリアのミュージアム

- 宮古島市総合博物館
Tel. 0980-73-0567
休館日：月曜・祝日・年末年始・慰霊の日（月曜が祝日なら火曜日休館）
- 宮古島市伝統工芸品センター
Tel. 0980-74-7480
休館日：年末年始・旧暦1月16日・旧暦7月15日・11月30日
- 宮古島市体験工芸村
Tel. 0980-73-4111
休館日：工房によって異なる（要問合せ）
- 宮古島市地下ダム資料館
Tel. 0980-77-7547
休館日：月曜・12月29日～1月3日

八重山エリア

個性豊かな10の有人離島

人気観光地の石垣島、東洋のガラパゴス・西表島、日本最西端の地・与那国島、有人島最南端の波照間島など、自然と独自の文化が残る八重山エリアです。

それぞれの島に豊かな文化と自然

サンゴ礁に囲まれた八重山の島々は、それぞれが個性的な表情を持っています。その中心を担う島が石垣島。美しい入り江が広がる川平湾は、世界的に権威のある観光ガイド、ミシュランの三つ星観光地にも選ばれた名勝です。西表島は県内で沖縄本島に次ぐ2番目の広さを誇ります。島の約90%が亜熱帯の森に覆われ、国の特別天然記念物・イリオモテヤマネコの生息地として知られています。石垣島から船で約10分と最も近



竹富島

い竹富島は、赤瓦屋根の民家と石垣という沖縄の原風景ともいべき集落が残っており、重要伝統的建造物群保存地区に指定されています。また日本最南端の有人島で「果てのうるま(サンゴ)」の意味を持つ波照間島、日本最西端にあり晴れた日には台湾の島影が見える与那国島のほか、小浜島、黒島、新城島、鳩間島、竹富島など、小さな島々が点在しています。

伝統芸能や祭りが盛んな島々

それぞれの島に伝わる歌や踊り、祭りの数々は独特なもので、季節ごとに行われます。豊年祭、アンガマ、ムシャーマや、国の重要無形民俗文化財の結願祭、節祭(シチ)、種子取祭(タナドゥイ)など、その種類はさまざまです。

また、県立八重山農林高校には郷土芸能部があり、全国高等学校総合文化祭に出場し優秀賞を受賞するなど、若い世代も郷土芸能を守る取り組みを進めています。



ムシャーマ

八重山エリアのミュージアム

- 石垣市立八重山博物館
Tel. 0980-82-4712
休館日：月曜（祝日の場合翌日も休館）・祝日・慰霊の日・年末年始
- 八重山平和祈念館
Tel. 0980-88-6161
休館日：月曜（祝日の場合は開館）・年末年始
- 西表石垣国立公園 竹富島ビジターセンターゆがふ館
Tel. 0980-85-2488
開館時間8：00-17：00
休館日：台風時

本島周辺離島エリア

久米島

島全体が県立自然公園に指定

久米島は、那覇市の西、約100kmに位置し、島の周囲48km、人口約7,900人（2018年6月現在）の島。那覇から飛行機で約30分、フェリー直行便では2時間50分程度と比較的近い距離にあります。1983年に島全体が県立自然公園に指定され、島の北西部にある溪流・湿地はラムサール条約にも登録されています。東洋一美しいとも言われている「ハテの浜」や国の重要無形文化財にも指定された「久米島紬」、世界唯一の海洋温度差発電実証実験施設など、豊富な資源に恵まれています。



ハテの浜

慶良間諸島

沖縄戦で最初の上陸地となった島

沖縄本島から西方約40kmの東シナ海上に点する大小20余りの島。人の住んでいる島は、渡嘉敷、座間味、阿嘉、慶留間の4つです。那覇に近い渡嘉敷島までなら船で約35分。座間味島、阿嘉島までは1時間くらいです。

美しい慶良間の島々ですが、1945年の沖縄戦の際にはアメリカ軍が最初に上陸し、住民が悲惨な集団死（集団自決）をとげたという、悲しい歴史もあります。



座間味上陸地の碑

伊江島

中央にそびえる山は島のシンボル

沖縄本島北部、本部半島の北西約9kmに位置し、イージマタッチューの名で親しまれている標高172mの城山がそびえ、特徴的な景観を見せています。



伊江島のシンボル城山（イージマタッチュー）



伊是名の風景

伊平屋島・伊是名島

琉球王朝時代を築いた王統発祥の地

沖縄県の最北端にある伊平屋島、その隣にある伊是名島は、琉球王統発祥の地。どちらの島も肥沃な土地に恵まれ、稲作が盛んです。



慶良間諸島

本島周辺離島エリアのミュージアム

- 久米島ホテル館
Tel. 098-896-7100
休館日：月曜・火曜・年末年始
- 久米島紬の里ユイマール館
Tel. 098-985-8333
休館日：1月1日・旧暦1月16日・旧盆・町産業まつり
- 渡嘉敷村立歴史民俗資料館
Tel. 098-987-2120
（渡嘉敷村教育委員会 教育課）
休館日：要問合せ
（来館希望があった時のみ開館）



沖縄の

自然環境

について学ぼう

サンゴ礁が広がる青い海と白い砂浜、そして亜熱帯の湿地帯。沖縄の美しい自然は人々を魅了し、また多くの人に守られています。



動画でも学べる

慶良間諸島の海

息をのむほど
きれいな沖縄の海を
いつまでも守って
いきたいね。



かけがえのないサンゴ礁の海

白い砂浜と青のグラデーションが印象的な沖縄の海。この見事な景観を作り出しているサンゴの生態を学び、美しい海をみんなで守っていきましょう。

美しい海を作り出すサンゴ礁と深刻化する環境問題

世界有数の透明度を誇る沖縄の美しい海には色とりどりのサンゴが生息しています。サンゴは触手などに毒針を持つ刺胞動物の一種で、クラゲやイソギンチャクと同じ仲間です。宝石として珍重されるアカサンゴや柔らかい体を持つオオウミキノコ、岩のようなサンゴ礁を作り上げるミドリイシなどさまざま、日本に生息する約400種のサンゴのうち380種以上が沖縄に生息しているといわれています。サンゴは触手を伸ばして海中のプランクトンを食べ、体内に共生している褐虫藻が光合成を行い生活します。そしてサンゴやサンゴにすむ水中生物を目当てに魚が集まり、さらに



彩りの美しいサンゴ



サンゴの群生

その魚を食べる大きな魚が集まってきます。サンゴ礁はまさに海洋生物の宝庫なのです。

このような美しい海も近年、環境問題が深刻化しています。

その一つが、開発現場や農地からの赤土流出の問題。赤土は南西諸島特有の土壌で、雨によって浸食されやすく、いったん流出するとすぐには沈みません。海や砂浜を赤く染めて景観を損なうばかりか、赤土が堆積すると魚やサンゴが生きられなくなります。さらに養殖もずくなどの水産業にも悪影響を及ぼします。このような状況を受け、沖縄県では条例を制定し赤土の流出を抑制しようと努力しています。



赤土流出

サンゴ礁の再生を目指したさまざまな活動

2010年に公開された映画『ていだかんかん』により、注目が集まったサンゴの養殖。映画のモデルとなった金城浩二さんは、世界で初めてサンゴの人工養殖と産卵に成功しました。現在では、金城さんが活動を行っている「さんご畑」をはじめ、多くの団体がサンゴ礁再生プロジェクトに参加し、サンゴの生存率は上昇しています。しかし、むやみにサンゴを養殖・移植すればいいというものではありません。サンゴを採捕するには特別採捕許可を申請する必要があるとし、移植後は管理を行うことが大切です。サンゴの移植は日本サンゴ礁学会の定める「造礁サンゴの移植に関するガイドライン」を遵守した活動となっています。(写真提供:読谷村 さんご畑)



移植放流用のサンゴは沖縄県産愛情をこめて育てられたサンゴは、5cm程に成長したら海へ移植。植えた環境に合った形を作りながら成長します。



スクスクと成長するサンゴを観察読谷村にあるさんご畑では、100種類以上、5万株を超えるサンゴと、サンゴにすむエビや貝類などの観察ができます。



詳しくはこちら



【サンゴ移植マニュアル】

http://www.pref.okinawa.jp/site/kankyo/shizen/hogo/documents/sango_isyoku_manual.pdf



浅瀬にすむ危険な生物

サンゴ礁にはいろいろな生物がすんでいます。中には猛毒を持っているものもいます。やたら触ったり、イタズラしないようにしましょう。資料提供:「沖縄県衛生環境研究所」



ハブクラゲ

5〜10月頃に発生します。透き通っているので発見しにくく要注意。触ると激痛があり、みみず腫れができます。



ガンガゼ

長い棘は折れやすく毒を持っており、刺されると激痛が持続し、発赤や腫れ、水泡などの症状を起こすこともあります。



アンボイナガイ

毒鉗に刺されると数十分後から麻痺が起こり、次第に歩行や呼吸が困難になり、全身麻痺、呼吸困難になる危険性も。



ヒョウモンダコの仲間

きれいな模様の小さいタコですが、噛まれると毒によって麻痺や呼吸困難になる危険性があります。

COLUMN

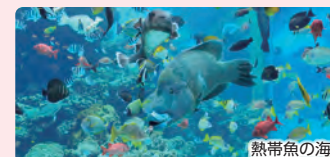
回遊魚たちが泳ぐ世界最大級の水槽

沖

縄周辺の海は「巨大な暖流(黒潮)」」「サンゴ礁」「深海」という大きく3つの要素から構成されていて、そこには世界有数の生物種が生息する神秘的な世界が広がっています。それを再現した展示を行っているのが沖縄美ら海水族館です。世界最大級の大きさを誇るメイン水槽「黒潮の海」には、魚類最大のジンベエザメやエイの大型種ナンヨウマンタをはじめ、約60種、6,300匹もの海の生物が飼育されています。また水族館では、生物の繁殖に関する研究調査も進められています。



黒潮の海



熱帯魚の海

沖縄美ら海水族館
TEL: 0980-48-3748
<https://churaumi.okinawa>



おもしろ写真を撮ってみよう!



ナンヨウマンタは餌を食べるとき、効率よく食べるために水中でぐるんと後方回転するんだって!

9時30分のマンタの給餌解説! フロアリングを見られるよ!



画像提供: 国営沖縄記念公園(海洋博公園): 沖縄美ら海水族館

知ろう 亜熱帯の森は生物の宝庫

沖縄の魅力は海だけではなく。豊かな自然が残る沖縄の森では、亜熱帯気候特有の貴重な動植物が生息しています。

沖縄ならではの希少な動植物と自然環境を守るエネルギー

沖縄はかつて大陸と陸続きでしたが、大昔に大陸から切り離され、その後小さな島々に分かれていく中で、南北に点々と続く島々となりました。大陸と分断されたため、独自の進化をとげてきた動植物がたくさんいます。



やんばるとは、沖縄本島北部のことで、山や森が多いことから、山原(やんばる)といいます。



亜熱帯の森(やんばる)



イジュの花



イタジの森

20世紀最大の生物学的発見といわれ、西表島だけに生息する**イリオモテヤマネコ**。沖縄本島北部(やんばる)の固有種の鳥である**ヤンバルクイナ**や**ノグチゲラ**。日本最大の甲虫の仲間として知られる**ヤンバルテナガコガネ**。これらは絶

滅危惧種でもあり、保護のための調査や活動が行われています。また、沖縄では珍しい植物もたくさん見られます。石灰岩地帯に生育するガジュマルや、パイナップルに似た実をつけるアダン、ジャングルを連想させるマングローブのほか、ハイビスカスやブーゲンビリアなどの色鮮やかな花々も沖縄らしい植物です。「生物の宝庫」ともいわれる沖縄の豊かな自然を、いつまでも大事に残していかなければなりません。

環境に配慮したエネルギー対策の観点から沖縄県では、各所に**風力発電**や**太陽光発電システム**を設置し、企業や一般家庭などへの本格普及を目指しています。また、宮古島ではサトウキビを原料とした燃料用**バイオエタノール**の生産・利用を進めています。このような**再生可能エネルギー**は、発電時に二酸化炭素を排出しないクリーンなエネルギーとして期待と需要が高まっています。



太陽光発電



サトウキビ畑

沖縄の豊かな自然に直接ふれるエコツーリズム

沖縄では、たくさんの**エコツーリズムの体験プログラム**が実施されています。希少な動植物が観察できるトレッキングやマングローブの林を探索するカヌーツアー、サンゴ礁を観察できるダイビングやシュノーケリングなどを県内各地で体験することができます。地元の人とふれあいながら沖縄の自然を楽しみましょう。



やんばるマングローブカヌー体験

カヌーを漕ぎながら、沖縄本島最大規模を誇る慶佐次湾のヒルギ林(国指定天然記念物)を間近で観察できます。



トレッキング

亜熱帯のジャングルのようなトレッキングルートを、ツアーガイドの案内で動植物を観察しながら歩きます。



体験プログラムで自然の大切さを考えよう！

A

ター滝トレッキング&滝つぼ遊び



誰でも楽しめる高さ15メートルのター滝。地元ガイドの案内で自然の川へジャブジャブ! やんばるの森に癒されながら、アドベンチャー気分でジャングル探検しましょう。

所要時間 約2時間 受入人数 2名~20名
料金 5,060円/人 (ガイド料・保険料・消費税込)

B

シュノーケリング&バナナボート&ジェットボード



国定公園に指定されている大宜味村の海岸。熱帯魚とサンゴの楽園を体感するシュノーケリングや、水面からサンゴ礁が見られるバナナボート&ジェットボードなどが楽しめます。

所要時間 約2時間 受入人数 10名~60名
料金 6,500円/人 (インストラクター・保険料・消費税込)

C

マングローブカヌー体験&マングローブ観察



観光省の「日本の重要湿地」として選定されている億首川を、カヌーで水上散歩。ガイドの説明を聞きながら、マングローブ林の豊かな生態系を観察できます。

所要時間 約2時間 受入人数 120名
料金 4,000円/人 (団体料金)

D

水牛車マングローブ観察



のんびり水牛車に乗って、地元の青年インストラクターがマングローブの環境学習と心のふれあい体験を提供。帰りには三味線を弾きながら楽しく案内してくれます。

所要時間 約45分 受入人数 40名
料金 1,000円/人

E

夜の干潟 観察会



サンゴやナマコ、カニ、ヒトデなど600種類以上が生息する屋嘉田潟原。潮が引いた干潮の夜にガイドの案内で、普段はなかなか見ることのできる生物たちに出合えます。

所要時間 約2時間 受入人数 5名~15名
料金 3,500円/人

F

清流リバートレッキング



美しい川が流れる亜熱帯のジャングルを、沖縄独自の植物などを観察しながら歩きます。森の中に突如現れる滝でゆっくり過ごしたり、暑い季節は滝壺で泳ぐこともできます。

所要時間 約3時間 受入人数 20名~80名
料金 3,100円/人

ここで体験

A B

おおきまると
ツーリズム協会

TEL:0980-44-1960
http://ogimi-tourism.com/



C D

ふくらしゃや
自然体験塾

TEL:098-968-3311
http://www.kin-eco.com/



E

ちゅらさ工房

TEL:090-1946-0147
https://www.churasakoubou.com



F

がじゅまる
自然学校

TEL:0980-58-1852
http://www.wens.gr.jp/gajumaru/



絶滅が心配される野生動物

貴重な野生動物が多くいる沖縄県。絶滅が心配されている野生動物の保護を行うため、沖縄県では「沖縄県版レッドデータブック」を作成しています。



ヤンバルクイナ

写真提供:宮城国太郎

沖縄本島北部だけに生息している飛べない鳥。マングースの防除等の取り組みにより個体数はわずかながら回復傾向にあります。



イリオモテヤマネコ

八重山の西表島に生息していますが、生息数は100頭前後と推測され、絶滅の危機が高まっています。



ノグチゲラ

沖縄本島北部のやんばるの森林だけに生息する、キツツキの仲間。1977年、国の特別天然記念物に指定されました。



リュウキュウヤマガメ

甲長15cmほどの陸生のカメ。道路での交通事故、側溝への落下による死亡などが、生存への脅威となっています。



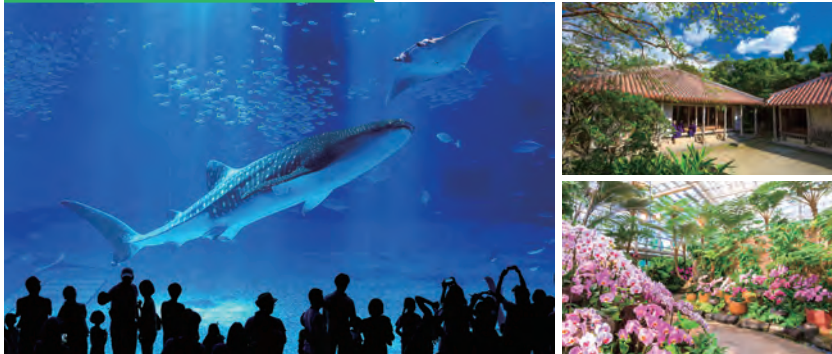
詳しくは沖縄県自然保護緑化推進課
HP (http://www.pref.okinawa.jp/site/kankyo/shizen/hogo/okinawa_rdb_doubutu.html)





触れて 感じて 学べる 自然環境スポット

本部町



こくえいおきなわきねんこうえん：かいようはくこうえん（おきなわちゅうらうみずいぞくかん、おきなわきょうむら、ねったいどりーむせんたー）
国営沖縄記念公園：海洋博公園（沖縄美ら海水族館、おきなわ郷土村、熱帯ドリームセンター）
 大人気の沖縄美ら海水族館や、琉球王国時代にタイムスリップしたようなおきなわ郷土村、常時 2,000 株以上のランを展示している熱帯ドリームセンターなど、沖縄の自然・歴史・文化を学ぶことができます。
 TEL 0980-48-2741 <https://oki-park.jp/kaiyohaku/>



豊見城市



まんこみずどり・しゅっせんたー
漫湖水鳥・湿地センター
 世界的に重要な渡り鳥の中継地・越冬地である漫湖は、ラムサール条約湿地です。こちらのセンターでは、漫湖の自然環境や生物について紹介するとともに、実際に野鳥やカニなどを観察することができます。
 TEL 098-840-5121 <http://www.manko-mizudori.net/>



沖縄の自然環境を体感できるスポットやプログラムがいっぱい！

名護市



ごーだっく（こくさいかいようかんきょうじょうほうせんたー）
GODAC（国際海洋環境情報センター）
 「しんかい6500」の模型、深海生物や海底鉱物資源の標本、深海映像など、各種見学プログラムを通し、最先端の海洋科学技術などについて理解を深めることができます。
 TEL 0980-50-0111 <http://www.godac.jp/>



国頭村



やんばるやせいせいぶつほごせんたーうぶぎーせんかん
やんばる野生生物保護センター ウブギー自然館
 世界的に貴重な亜熱帯林地域の森「やんばる」と多種多様な生き物たちを、はく製や映像を通して紹介しています。やんばるの自然を満喫するための事前学習に最適です。
 TEL 0980-50-1025 <http://www.ufugi-yambaru.com/>



宮古島市



みやこじましかだむりょうかん
宮古島市地下ダム資料館
 水を通さない壁を作り地下水の流れをせき止めた地下ダムは、世界で初めて宮古島に建設され、農業用水などに使われています。資料館ではその構造や地下水のメカニズムを紹介しています。
 TEL 0980-77-7547

南城市



がんがらーのたに
ガンガラーの谷
 鍾乳洞が崩壊してできた谷間に広がる森は、川が流れ、亜熱帯の植物、動物たちの住処。ガジュマルの大木や、数万年前の古代人の痕跡が残る遺跡、命の誕生を願う洞窟などがあります。
 TEL 098-948-4192 <http://www.gangala.com/>



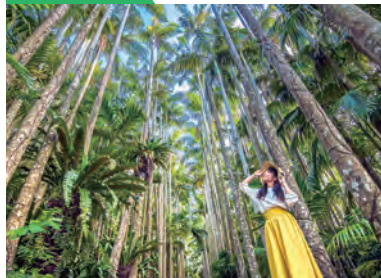
沖縄市



おきなわこどものくに
沖縄こどもの国
 約150種類1,100点の動物がいる動物園の他、県内初の自由に触れて遊べる参加型の展示を取り入れたワンダーミュージアムなどがあります。また、園内では南国らしい季節の花や植物を見ることもできます。
 TEL 098-933-4190 <https://www.okzm.jp/>



沖縄市



とうなんしよくぶつらくえん
東南植物楽園
 大規模な野外植物展示施設をフィールドに、植物を見たり、触れたりすることで生命の不思議や、地域や気候による植物の違いを学ぶ学習プログラム「亜熱帯植物の不思議にせまる!」（約60分）もあります。
 TEL 098-939-2555 <http://www.southeast-botanical.jp>



宮古島市



みやこじまがいちゅうこうえん
宮古島海中公園
 海中生物の観察などを通して海を身近に感じることができる、宮古島の海洋資源を活用した体験型施設。海中観察施設では24個の窓から生き物の生態を覗くことができます。
 TEL 0980-74-6335 <http://miyakojima-kaichukoen.com/>



竹富町



かやまじま
カヤマ島
 西表石垣国立公園に属する無人島カヤマ島。手つかずの自然と珊瑚や熱帯魚が観察できます。手軽に大自然と触れ合えるフィールドで、楽しみながら環境について考えるきっかけをご提供できれば幸いです。
 TEL 0980-82-6475 <https://www.ishigakikankou.ty/wp/tour/?island=kayama>



竹富町



かんきょうしやういりおもてやせいせいぶつほごせんたー
環境省西表野生生物保護センター
 国の特別天然記念物に指定されているイリオモテヤマネコの保護活動の拠点です。また、島の希少な野生生物たちの紹介や自然保護への啓発活動も進めています。
 TEL 0980-85-5581

うるま市



びおすのおか
ビオスの丘
 約7.5万坪の本格的な亜熱帯植物園。色とりどりの花々や、可愛い動物たちとの触れ合い、水牛車での散策、園内の池では湖水観賞舟に乗ったり、カヌー体験などが楽しめます。
 TEL 098-965-3400 <http://www.bios-hill.co.jp/>



読谷村



さんごばたけーりくじょうのさんごしょう
さんご畑～陸上のサンゴ礁～
 サンゴ移植のパイオニアとして知られ、映画のモデルにもなった金城浩二さんが手がけるさんご畑。サンゴの苗や水中の生物がいる水槽を間近に観察できます。
 TEL 098-982-9988（（有）海の種類） <http://www.sangobatake.jp/>



名護市



ぶせなかいちゅうこうえん（かいちゅうてんぼうとう・ぐらすそこぽーど）
ブセナ海中公園（海中展望塔・グラス底ボート）
 ブセナ岬にある海中展望塔では、水深5mの世界を360度、24面の窓から観察。クジラ型のボートでは、海中をのぞきながらのクレージングも楽しめます。海中散策は子どもたちにも大人気です。
 TEL 0980-52-3379 <http://www.busena-marinepark.com/>



久米島町



くめじまほたるかん
久米島ホテル館
 ホテルの生息する湿地、河川環境の生きもの観察と、再生のためのプロセスを体験しながら、未来の地球環境を支える生き方を育むための自然再生体験学習を行っています。
 TEL 098-896-7100 <https://kumejimahotaru.jimdofree.com/>



久米島町



くめじまうみがめかん
久米島ウミガメ館
 ウミガメの保護を目的とした施設「久米島ウミガメ館」。絶滅の危機にあるウミガメ類の現状をパネルや映像でわかりやすく説明しています。大水槽ではゆったりと泳ぐウミガメの姿を見ることができます。
 TEL 098-985-7513 <http://umigamekan.ti-da.net/>



慶良間諸島



ざまみそんほえーらうおっちゃんぐきょうかい
座間味村ホエールウォッチング協会
 慶良間諸島で見られるザトウクジラ。出港すれば95%以上の確率で出会うことができます。大海原で繰り広げられる、クジラたちのダイナミックなパフォーマンスは感動的です。
 TEL 098-896-4141 <http://zwwa.okinawa/>





触れて 感じて 学べる 文化スポット

豊見城市



おきなわからてかいかん 沖縄空手会館

空手道場・特別道場・鍛錬室・資料室・研修室を有する国内唯一の空手特化型施設です。空手の歴史を学ぶ資料室や、空手の礼儀作法や基本動作を中心に学ぶ空手体験教室など、知識や体験を通して、空手の真髄を体感することができます。

TEL 098-851-1025 <http://karatekaikan.jp>



那覇市



なはしぶんかてんぶすかん 那覇市ぶんかテンブス館

国際通りの中央部にあり、テンブスとは方言で「へそ」を意味します。県内唯一の沖縄芸能常設公演があり、琉球舞踊や組踊など多彩な芸能を発信。エイサー・三線などの体験教室も楽しめます。

TEL 098-868-7810
<http://www.tenbusu.jp/>



南城市



おきなわワールド文化王国・玉泉洞

紅型、機織り、琉球ガラスを作る体験ができます。沖縄の伝統的なエイサーにアレンジを加えた迫力あるスーパーエイサーも楽しめます。

TEL 098-949-7421
<https://www.gyokusendo.co.jp/okinawaworld/>



浦添市



こくりつげきじょうおきなわ 国立劇場おきなわ

ユネスコの無形文化遺産となった組踊を中心とする沖縄伝統芸能の保存振興を図る目的で2004年に開場した劇場。組踊とは、舞踊、音楽、せりふの三つの要素から構成された沖縄独特の歌舞劇です。

TEL 098-871-3311
<http://www.nt-okinawa.or.jp/>



北中城村



なかむらけいじゅうたく 中村家住宅

沖縄の住居建築の特色をすべて兼ね備えた建物で、現存するのは18世紀に建てられたものです。当時の豪農の住宅で、国の重要文化財にも指定されています。

TEL 098-935-3500
<https://www.nakamurahouse.jp>



うるま市



うるましんこうぶっさんぎょうかい うるま市観光物産協会

琉球舞踊の体験プログラムでは、その起源や種類の解説を聞き、体験する演目の実演を鑑賞した後、練習を行います。日本の舞踊とは衣装も動きも異なる沖縄独自の文化を体験できます。

TEL 098-978-0077
<http://uruma-ru.jp>



読谷村



せかいいさんざきみじょうあとゆんたんざみゅうーじあむ 世界遺産座喜味城跡ウンタンザミュージアム

読谷村は伝統工芸が盛んで、平和学習にも力を入れています。博物館には地域の歴史民俗に関する展示が充実し、亀甲墓の中に入ることや、再現したガマで戦時中の様子を体験することもできます。

TEL 098-958-3141
<https://www.vill.yomitan.okinawa.jp/sections/culture/post-1681.html>



読谷村



たいけんおうこく むらさきむら 体験王国 むら咲むら

昔の琉球の街並みを再現した園内では、32の工房で101のプログラムを体験できます。伝統工芸品や琉球料理など、幅広いジャンルの体験が楽しめます。

TEL 098-958-1111
<http://murasakimura.com/>



沖縄の文化を体感できるスポットやプログラムがいっぱい！

恩納村



りゅうきゅうむら 琉球村

沖縄の文化、芸能、自然を、見て体感できるテーマパーク。絵巻行列では、沖縄風パレード「道ジュネー」に年中行事を凝縮し、琉球舞踊やエイサーをはじめ、迫力ある獅子舞など、沖縄の伝統芸能をまとめて堪能できます。

TEL 098-965-1234
<https://www.ryukyumura.co.jp/>



恩納村



おきなわたいけんらいにかない 沖縄体験ニライカナイ

サトウキビ刈りから黒糖作りなどの農業体験、エイサーなどの芸能体験、漆喰シーサー作りなどの工芸体験、イノー自然観察などの自然体験と、地元の人と交流しながら行える様々な感動体験プログラムがあります。

TEL 098-964-1616
<https://www.niraikanai.co.jp/>



東村



ひがしそんりつやまとみずのせいかつくぶつかん 東村立山と水の生活博物館

豊かな自然に囲まれた東村の暮らしや生き物について学ぶ施設です。展示室にはジューゴンの骨格標本や、やんばるに生息している生き物などを紹介しております。

TEL 0980-51-2828
<http://yamamizu.vill.higashi.okinawa.jp>



宜野座村



ぎのざそんりつはくぶつかん 宜野座村立博物館

宜野座村に伝わる歴史や文化、民俗資料、戦争資料などが展示されています。また、村の郷土芸能をビデオで観賞できる芸能コーナーもあります。

TEL 098-968-4378
<Facebook> 宜野座村立博物館



宮古島市



みやこじましでんとこうけいひんせんたー 宮古島市伝統工芸品センター

400年の歴史を誇る宮古上布の研究と、後継者の育成を行っており、ビデオや資料でその製造工程や歴史を見ることができます。直接、機織りをしている作業風景を見学することも可能です。

TEL 0980-74-7480(宮古織物事業協同組合)
<http://miyako-kougeli.com/>



宮古島市



みやこじましでんとこうけいひんせんたー 宮古島市体験工芸村

宮古の自然や文化を体験できる施設で、織物、陶芸、藍染、籠作り、貝細工、島ぞうり等、8工房、豊富な体験プログラムがあります。沖縄本島とは違う文化を楽しんでみましょう。

TEL 0980-73-4111
<https://miyakotaiken.com/>



石垣市



いしがきやいまむら 石垣やいま村

園内は古きよき八重山の家並みを再現。琉球衣装体験やシーサー色付けなどの体験メニューが充実しています。奥にはラムサール条約に指定登録されたマングローブ（ヒルギ林）「名蔵アンパル」があります。

TEL 0980-82-8798
<https://www.yaimamura.com/>



久米島町



しまのがっこうくめじま（くめじまちょうこうきょうかい） 島の学校 久米島（久米島町観光協会）

島内散策やシーサー作り、お菓子作りなどの体験プログラムを実施。あたたかな笑顔で迎えてくれる島の人々との交流を通して、きっと大切な何かを学べるはずです。

TEL 098-851-7973
<https://www.kanko-kumejima.com>



伊是名村



いぜんそんふれあいみんぞくかん 伊是名村ふれあい民俗館

古代遺跡の出土品や南極の石など、伊是名島出身の人物や歴史文化をまとめた博物館。注目目は縄文時代の体長158cmの男性貝輪着装人骨で、学術的にも大変貴重な資料です。

TEL 0980-45-2165
<http://www.izena-kanko.jp/detail.jsp?id=48701&menuid=10403&funcid=3>





沖縄の

歴史

について学ぼう

140年ほど前は、
琉球王国という独立国だった沖縄県。
他国の影響を受けながら育まれた、
独自の歴史をたどってみましょう。



国営沖縄記念公園(首里城公園)
空撮(2019年1月)

首里城は琉球王国の
政治・外交・文化の
中心として
栄華を誇ったよ。



知ろう 琉球王国 —独自の文化を築いた王国—

琉球王国がどんな国であったのかを知ると、沖縄の独自の成り立ちがよく分かります。三山時代や琉球王国の成立、薩摩の侵攻を経て、琉球処分により琉球王国が幕を閉じるまで、その歴史の流れを知っておきましょう。

450年以上続いた琉球王国

沖縄県はかつて「琉球王国」という、国王を頂点とする独自の国家を形成していました。琉球王国が誕生する前、沖縄本島は「南山」「中山」「北山」の3つの国に分かれ争っていました。この三山時代の1372年、中山の察度王が初めて中国(明)へ使者を送りました。以降中国や日本、東南アジア各国と中継貿易を行い、大いに栄えました。現在、沖縄の伝統工芸品である焼き物や織物、漆器などの技術もその時に伝わったものです。

その後、1429年に南山の支配下にあった権力者の尚巴志が初めて三山統一を成し遂げ、琉球王国・第一尚氏王統が始まりましたが、大土木工事や王位争い、内乱などで力を弱めました。1470年には伊是名島出身の金丸が王位に就き、尚巴と名乗り、第二尚氏王統が始まりました。しかし1609年、薩摩藩が3,000人の兵を琉球に送り込み、琉球は日本の幕藩制支配下に組み込まれることになりました。

薩摩の侵攻から琉球処分

1591年、豊臣秀吉は朝鮮出兵を決心し、薩摩を通じて琉球にも兵を出すよう命じます。これに対し薩摩は、兵を出す代わりに琉球に金銀や米を要求。これを琉球が断ったため、薩摩は1609年に徳川幕府の名の下で3,000人の兵を送り、琉球を攻めました。長い間戦争の経験がなく平和に過ごしてきた琉球王国はなすすべもなく敗れました。琉球はその後、薩摩の支配下に置かれることになりましたが、中国との関係も認められ、独立国の体裁を保ちました。

明治政府は、これまで日本と中国と深い交流があった琉球王国について、1872年に琉球藩を設置し、中国(清)との(冊封・朝貢)関係を絶たせた後、さらに1879年に琉球藩を廃して沖縄県を設置し、段階的に日本の版図に組み込みました。これらの一連の流れを「琉球処分」といい、これにより、第一尚氏から続いた琉球王国の約450年にわたる歴史は幕を閉じます。

世界遺産

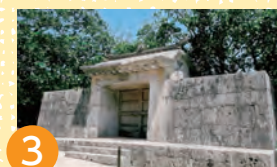
日本とは違う独自の歴史を持つ沖縄。人を引きつける魅力の源泉はここに。

琉球王国のグスク及び関連遺産群

2000年12月、首里城跡など県内9カ所の城跡や名勝などが「琉球王国のグスク及び関連遺産群」として世界遺産に登録されました。日本国内では11番目となります。いずれも、琉球が王国統一に動き始める14世紀後半から、王国成立後の18世紀末にかけて生み出された、琉球独自の特徴を表す文化遺産です。



2 玉陵 たまうどん
●那覇市【文化遺産】
第二尚氏王統の王が眠る墓。沖縄独特のひさしの付いた中室、東室、西室の三つの破風(はふばか)が連なっているのが特徴です。



3 園比屋武御嶽石門 そのひやんうたき いしもん
●那覇市【文化遺産】
王国時代に琉球石灰岩で造られた石門。奥の森が御嶽と呼ばれる聖地で、国王が外出の際無事を祈る大切な場所でした。



4 識名園 しきなえん
●那覇市【文化遺産】
琉球王家最大の別邸。赤瓦の御殿と美しい庭園は中国、日本、沖縄の庭園技術を取り入れたものです。



5 斎場御嶽 せいふあうたき
●南城市【文化遺産】
琉球開びやくの神、アマミキヨによって造られたとされる七つの御嶽の一つ。現在も厚い信仰を集める沖縄第一の霊場です。



6 中城城跡 なかぐすくじょうあと
●北中城村・中城村【文化遺産】
中城湾に面した高台に立つ城。座喜味城を築いた護佐丸が城主を務めました。広い敷地には六つの郭が点在しています。



7 勝連城跡 かつれんじょうあと
●うるま市【文化遺産】
階段状に造られた四つの郭の最上部は、360度の眺望。城内からは繁栄の様子を示す多くの遺物が見つかっています。

北部
中部
南部

THE WORLD HERITAGE



1 首里城跡 しゅりじょうあと
●那覇市【文化遺産】
琉球王国の政治・外交・文化の中心地として威容を誇った首里城。日本と中国の建築様式が取り入れられた独特の造りです。



8 座喜味城跡 ざきみじょうあと
●読谷村【文化遺産】
15世紀前半に護佐丸が築城した城跡。沖縄最古のアーチ型石門と曲がりくねった城壁が特徴です。



9 今帰仁城跡 なきじんじょうあと
●今帰仁村【文化遺産】
沖縄が三つの勢力に分かれていた三山時代の北山王の居城。溪谷の上に立つならかな曲線が見事な城壁が美しいです。

COLUMN

首里城の「見せる復興」に注目

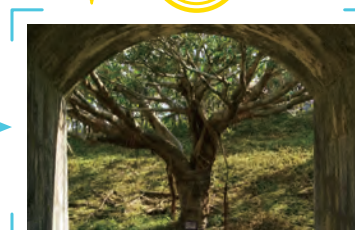
首里城は正殿などが国宝に指定されていましたが戦争で焼失。1992年に沖縄の本土復帰20周年を記念して正殿などが復元され、その後も調査研究の上様々な建物が復元されました。しかし2019年10月31日、火災により首里城正殿を含む建物8棟が焼損し、沖縄県内外が驚きと悲しみに包まれました。現在は「見せる復興」として、世界遺産である正殿の基壇遺構をはじめ、龍柱など火災後の残存物を展示。復元に向けた工事の様子も見ることができ、日々変わりゆく復興の様子を確認できます。



首里城公園
TEL: 098-886-2020
<http://oki-park.jp/shurijo/>



おもしろ写真を撮ってみよう!



京の内は城内最大の祭祀空間。神聖な場所である「御嶽(うたき)」や林を18世紀前半を想定し再現している。

京の内入口に立つカヌーが神秘的!



沖縄情報

自然環境

文化

歴史

平和

産業

知ろう 太平洋戦争 ―住民を巻き込んだ沖縄戦―

日本という国のあり方を大きく変えてしまった太平洋戦争。その中で、多くの県民が犠牲となった沖縄戦とはどんなものだったのか、学びましょう。

太平洋戦争前の景気

1914年の第一次世界大戦で日本は、ヨーロッパ各国への輸出で**特需景気**となりましたが、終戦後の1920年には**不況**となります。その影響は沖縄にもおよび、農村部においては食べ物に困った人は、有毒植物であるソテツまでも毒抜きして食べました。この大正末期から昭和初期の「**ソテツ地獄**」と呼ばれる恐慌で、人々は生活が苦しくハワイや南米などへ**移民**として渡りました。

徐々に進んでいた日本への同化政策により、**生活のしきたりや習慣を日本風**にしようと、県は沖縄独特の読み方の名字を読み替えたり、沖縄方言ではなく標準語を使うことを奨励しました。学校では、方言を使った生徒に対して罰として「**方言札**」という札を首にかけさせたほどです。天皇は神であるという**皇民化教育**が進められ、命を張って国を守る「**忠君愛国**」の精神が人々に浸透していきました。やがて戦争へと突入していきます。



那覇全景 (1945年) (沖縄県公文書館所蔵)



那覇の街並み (2015年)

集団死(集団自決)の悲劇

当時、住民は軍によって、鬼や獣のように恐ろしいアメリカ兵やイギリス兵に捕らえられたら、女性は一人残らず乱暴され、男性は最も残忍な方法で殺されると信じ込まされていました。**渡嘉敷島**では、米軍が島に上陸する前に、日本軍から村役場の男子職員や青年たちに**手りゅう弾**が配られました。しかし、そうして渡された手りゅう弾の多くは不発に終わり、死傷者は少数にとどまりました。ところが、そのことが逆に恐ろしい結果を招くことになりました。米軍に殺されるくらいならと、親が子を、兄が妹や弟を殺していったのです。その数は渡嘉敷島では329人といわれています。

本島中部・読谷村の**チビチリガマ**でも、アメリカ軍の上陸で逃げられないと思った住民80人以上が、命を絶っています。



渡嘉敷島に上陸した米軍から逃げた多くの住民が、島北部にある山中で命を絶しました。

太平洋戦争勃発と沖縄戦

1941年、**太平洋戦争**が起こりました。はじめ優勢だった日本軍は半年後には劣勢になり、**太平洋の島々は徐々にアメリカ軍に占領**されてしまいます。沖縄の人々が多く移り住んでいた**サイパンやテニアンも占領**されたため、日本軍はアメリカ軍が沖縄にも上陸するとみて、アメリカ軍を沖縄に留めておく作戦をとります。それは**本土決戦の準備時間を稼ぐ**ためでした。1945年3月26日に**アメリカ軍は慶良間諸島へ上陸**を開始し住民を巻き込んだ**地上戦**が始まります。戦争には今の中学生から高校生にあたる**男子学生が通信兵や特攻切り込み兵**として、**女学校の生徒たちは補助看護婦**として参加させられました。

6月23日に牛島司令官が自決し、アメリカ軍は7月2日に**沖縄戦の終了**を宣言しました。この90日間に渡る沖縄戦では多くの住民も犠牲になり、当時の人口で県民の4人に1人が亡くなったといわれています。

学童疎開船「対馬丸」の沈没

1941年に勃発した太平洋戦争ではアメリカ軍が太平洋の島々を次々に攻撃し、1944年7月にはサイパン島を占領しました。日本政府は「次は沖縄だ」と判断し、**沖縄、奄美大島、徳之島のお年寄りや子ども、女性を島外へ疎開**させる命令を出しました。そのうち、那覇や中北部の国民学校の生徒たちが集団で**対馬丸に乗り、長崎へ疎開**することとなりました。対馬丸は軍艦ではなく貨物船だったため窓がほぼなく、船内は蒸し風呂のような暑さで人々の体臭、船の臭いに満ちていました。

護衛艦や僚船2隻とともに出航した対馬丸ですが、**出航時からアメリカの潜水艦に追跡**され、攻撃の対象となっていたのです。そして出航から27時間30分後、ついに鹿児島県の**悪石島**近くで攻撃に遭い、**約10分で沈没**してしまいました。真夜中の出来事だったため大多数の人が脱出できず、**多くの犠牲者を出しました**。



対馬丸 (日本郵船歴史博物館所蔵)



公益質屋跡 (伊江島)

離島での沖縄戦

太平洋戦争の末期、激しい地上戦が繰り広げられた沖縄戦は、1945年3月26日に**アメリカ軍の慶良間諸島への上陸**から始まりました。沖縄本島の南から北まで攻撃エリアを広げていったアメリカ軍は、**津堅島、伊江島、久米島などの離島へも上陸**し攻撃の手を緩めませんでした。地上戦のなかった宮古・八重山でも、多くの犠牲者を出しました。宮古島では沖縄戦の始まる前の1944年、**10・10空襲**での初攻撃を境に戦闘機や戦艦による砲撃が続き、八重山地方では**マラリアが蔓延する地域への移住を強要**されたことで多くの住民が亡くなりました。西表島にある**忘勿石**は、マラリアで多くの生徒が亡くなった事実を忘れてはならないと、その死を悼んで刻まれたものです。



忘勿石 (西表島)



「ガマ」で戦時中の暗闇を体験し、沖縄戦の実相を知ろう

南城市



あぶちらがま (いとかずごう)
アブチラガマ (糸数壕)

ガマとは、沖縄の方言で洞窟のことです。南城市玉城の糸数集落にあるこのガマは全長約270mにおよび、1945年に駐屯していた軍の移動後、近隣住民約200名が避難しました。その後、陸軍病院として使用されるなど、多くの命を救いますが、病院の撤退後は重症患者が置き去りにされ、米軍の攻撃を受けるなど悲惨を極めました。

TEL : 098-852-6608
(南部観光総合案内センター)
<http://abuchiragama.com/>



豊見城市



きゅうかいぐんしれいぶごう
旧海軍司令部壕

沖縄戦において、日本海軍沖縄方面根拠地帯司令部のあった壕です。日本海軍設営隊によって掘られた壕で当時のまま残されており、現在は恒久平和を祈念する戦跡施設として、戦争の悲惨さと平和の尊さを学ぶ平和学習の場として活用しています。併設の資料館には、壕内で発見された戦争当時の遺品などが展示されています。

TEL : 098-850-4055
<http://kaigunou.ocvb.or.jp/top.html>



南風原町



おきなわぐんぐんびょういんはえはるごうぐんじゅうごう
沖縄陸軍病院南風原壕群20号

約30の横穴壕からなり、米軍の艦砲射撃が始まった1945年から陸軍病院として使用されました。ひめゆり学徒と呼ばれる女生徒222人が教師18人に引率され、看護補助要員として動員されました。米軍上陸後には本島南部への撤退命令が出され、その際には重症患者に青酸カリが配られ、自決の強要が行われたといわれています。

TEL : 098-889-7399
(南風原町立南風原文化センター)
<http://www.town.haeburu.lg.jp/docs/2013030100037/>



知ろう 米国統治 - 日本への復帰から現在 -

戦後 27 年間の米国統治が続いた沖縄。本土復帰を果たしたものの、いまだ米軍基地が島の多くを占める現実があります。そんな中でも、社会、経済などの水準を高め、自立できる沖縄への歩みを進めています。

米国統治下の沖縄

アメリカに支配された沖縄の自治権はかなり制限されたものでした。1946年、沖縄、宮古、八重山、奄美諸島の**四力所に分けて民政府**が作られました。1950年、各民政府は**群島政府**になり、1952年に四つの群島政府は**琉球政府**と統合されました。琉球政府の長である**行政主席**は、沖縄統治についての責任を負う組織である**米国民政府**が任命しました。米国民政府の責任者で、軍人である**民政副長官**(1957年以降は、民政長官・副長官制が廃止されたため**高等弁務官**となる)が強大な権利をもって統治しました。1970年には、コザ市(現沖縄市)で、米兵による交通事故への米憲兵の不当な事故処理に抗議する人々に対し米憲兵が威嚇発砲したため、怒った住民たちが米軍車両や外国人車両に、次々と火をつけました。これを「**コザ反米騒動**」といいます。

このように沖縄の人々の自治権や人権が踏みにじられたことが、沖縄の人々を**祖国復帰運動**へと導きます。

沖縄の願い～自立できる産業構造を

1972年5月15日、沖縄は**日本復帰**を果たしますが、沖縄の人々が望んでいた内容とは違いました。1969年に発表された**日米共同宣言**では「核抜き、本土並み、1972年返還」が掲げられていました。しかし実際は基地が残っている結果となりました。アメリカに支配されていた沖縄の経済状態は本土に比べ悪く、政府は税金を安くしたり多額のお金を投資し特別な措置をとりました。本土並みを目指し3次にわたる**沖縄振興開発計画**(1992～2001年)を立て、さらに2002年に策定された**沖縄振興特別措置法**に基づく沖縄振興計画により新しい沖縄づくりに取り組んだ結果、道路や港などの整備が飛躍的に進みましたが、今でも県民所得は本土の約7割、失業率は全国に比べ高い水準が続いています。こうした中、沖縄県では、将来(おおむね2030年)のあるべき姿を描いた基本構想「**沖縄21世紀ビジョン**」を策定し、その将来像を実現するため2011年「**沖縄21世紀ビジョン基本計画**」を公表しました。

終わらない戦後(不発弾・基地被害)

沖縄には戦時中に投下された爆弾が爆発せずに残っている**不発弾**が多く存在しており、すべて安全に処理するにはあと約70年はかかるといわれています。2010年には初めて住宅地での爆破処理が行われるなど、戦後70年経った今でも県民の生活をおびやかしています。1951年に**日米安全保障条約**が成立し、アメリカは日本全土に基地を置く権利を得ました。その後、より平等な関係を望む日本の意向をくみ、条約は改定されます。しかしその結果、本土の米軍基地は4分の1に減り、その分が沖縄に移りました。1972年の沖縄返還時、本土はさらに3分の1に減らされましたが、沖縄の米軍基地は減らされず、現在、**日本にある米**

軍専用施設の約70%が沖縄に集中し、沖縄本島では総面積の約15%を占めています。その存在により、日常的に基地周辺の住民を苦しめるのが騒音被害です。2004年には沖縄国際大学の校舎に米軍のヘリコプターが墜落し炎上するなどの事故も起きました。米軍基地による環境汚染や騒音、米兵による事件、事故などの被害は今でも後を絶ちません。

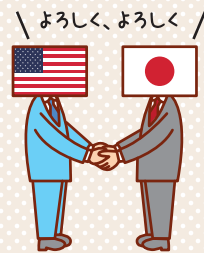


道の駅から見える米軍基地
嘉手納町にある「道の駅かでな」のフロアからは、アメリカ空軍の基地である嘉手納飛行場が見えます。

知ろう 安全保障を巡る日本とアメリカ、そして、沖縄との関係

日米安全保障条約って？

1951年、日本はサンフランシスコ講和条約を結び翌年に主権を回復、同時に日米安全保障条約を締結し米軍の駐留と基地の自由使用を認めました。やがて明記のなかった米国の日本防衛義務も日米共同防衛により明確化されたものの、ソ連との冷戦終結後は沖縄に米軍基地が集中し続けることへの反発が高まりました。しかし両政府は地域紛争問題などを挙げさらなる関係強化を図っています。



思いやり予算って？

日米安全保障条約に基づき、日本には約5万人の米軍が駐留しています。その駐留費用を、安全保障の代わりとして日本が負担しており、毎年2千億円前後の金額が防衛省予算に計上されています。しかし、本来、在日米軍の維持経費は日本に負担をかけずにすべて米国が負担すると規定している日米地位協定に反しており、そのため「思いやり予算」と呼ばれます。内容は、米軍基地の施設整備費のほか、日本人従業員の労務費、米軍の光熱水道費、訓練移転費などが含まれます。これまでに、米国は度々大幅な増額を要求するなど、ますます問題は深刻化してきています。



資料提供：沖縄県知事公室基地対策課



米軍専用施設のうち約70%が沖縄に集中してるんだって…。

沖縄県知事公室基地対策課
(2015年3月31日現在)

在日米軍提供施設・区域配置図



COLUMN

沖縄にある“リトルアメリカ”を歩こう!

米軍統治下にあった時代、沖縄ではドルが使われ、自動車は右側通行、町には英語があふれ、「アメリカ世(ゆ)」とも呼ばれていました。そして現在も、米軍基地に隣接する沖縄市のコザゲート通りや金武町の新開地には、アメリカンな町並みが残っています。

北谷町の「美浜アメリカンビレッジ」は、1981年に米軍から返還されたメイモスカラー射撃場の基地跡を開発して造られました。アメリカをイメージした町並みに、映画館、大観覧車、レストラン、雑貨店などが軒を連ねる、異国情緒あふれるリゾートタウンです。



美浜アメリカンビレッジ
TEL: 098-926-5678
<https://www.okinawa-americanvillage.com/>



おもしろ写真を撮ってみよう!



アメリカやヨーロッパを彷彿とさせる建物は、どこを撮っても写真映えるから歩いているだけでも楽しいよ!

北の町や海を一望できる観覧車もあるよ





触れて 感じて 学べる 歴史スポット

どこへ行こうかな〜♪



那覇市



おきなわけんりつはくぶつかん・びじゅつかん 沖縄県立博物館・美術館(おきみゅー)

沖縄の自然や歴史、文化を学ぶことができる博物館と、県出身や沖縄にゆかりのある作家の作品を展示する美術館を併設しています。車で那覇空港から20分、国際通りから5分、首里城公園から15分という立地で、大型バス駐車場も完備。団体の受け入れも可能です。
TEL 098-941-8200 <https://okimu.jp/>



那覇市



なはしきしはくぶつかん 那覇市歴史博物館

琉球王朝と那覇の歴史を紹介する博物館です。写真資料や美術工芸品のほか、琉球王国時代の国王の子孫である尚家から寄贈された、“王冠”や衣装、調度品などの国宝が展示されています。
TEL 098-869-5266
<http://www.rekishi-archive.city.naha.okinawa.jp/>



浦添市



うらそえようどれ／うらそえぐすく・ようどれかん 浦添ようどれ／浦添グスク・ようどれ館

13世紀に英祖王が作ったとされる王陵。崖をくり抜いて墓室にし、中国産の石で作られた石棺があります。ようどれ館には、浦添グスクの出土品や墓の内部が再現されています。
TEL 098-874-9345
<http://www.city.urasoe.lg.jp/categories/bunya/rekishi/urasoegusuku/>



沖縄市



おきなわけんせんごぶんかしりょうてんじかんひすとリーと 沖縄市戦後文化資料展示館ヒストリート

基地の街と呼ばれる沖縄市の、戦後の歴史を物語る生活用品などを展示しています。米軍基地のフェンスや、Aサインバーなど米兵たちが出入りした店などの様子が分かります。
TEL 098-929-2922
<https://www.histreet.okinawa.jp>



恩納村



おんなそんはくぶつかん 恩納村博物館

国指定史跡である仲泊遺跡や山田城跡、国頭方西海道などの村の歴史に関連するテーマや恩納村の人々の生業や日常の暮らし、年中行事などを実物資料や映像、模型などで紹介しています。
TEL 098-982-5112
<http://www.onna-culture.jp/museum/>



那覇市



しきなえん 識名園

1799年に中国からの使節をもてなすため造られた琉球王家最大の別邸。世界遺産と、国の特別名勝に指定され、日本と中国の庭園の様式が融合した沖縄独特のたたずまいです。
TEL 098-855-5936 (識名園管理事務所)
<https://www.city.naha.okinawa.jp/kankou/bunkazai/shikinaen.html>



那覇市



たまうどうん 玉陵

1501年に尚真王によって築かれた、琉球王家の第二尚氏王統の陵墓。歴代の王や王族らが葬られています。沖縄最古の破風墓の様式です。世界遺産に登録されています。
TEL 098-885-2861 (玉陵管理事務所)
<https://www.city.naha.okinawa.jp/kankou/bunkazai/tamaudun.html>



那覇市



しゅりきんじょうちよういしだたみち 首里金城町石畳道

首里城から那覇港へ行く真珠道(まだみち)の一部として、15世紀後半から16世紀にかけて作られました。奇跡的に戦禍を免れた300メートルにわたる石畳の道です。
TEL 098-862-1442 (那覇市観光協会)



今帰仁村



なきじんそんれきしぶんかせんたー 今帰仁村歴史文化センター

世界遺産に指定されている今帰仁城跡から発掘された陶磁器など、今帰仁グスク(城)の歴史を紹介する展示室があり、集落の形態、人々の暮らしが分かる品々が展示されています。
TEL 0980-56-5767



宮古島市



みやこじましろうどうはくぶつかん 宮古島市総合博物館

宮古の歴史や民俗文化財、生活様式を模型で展示したり、島の伝統行事や伝統芸能などをビデオで紹介しています。島に生息する生き物たちについても知ることができます。
TEL 0980-73-0567
<https://www.city.miyako.jima.lg.jp/soshiki/kyouiku/syougakusyu/hakubutsukan/index.html>



宮古島市



なかそねとうゆみやのはか 仲宗根豊見親の墓

15世紀末、宮古を統治した仲宗根豊見親(なかそねとうゆみや)の墓。墓は石造りとなっていて、宮古独特のミャーカと、沖縄本島の横穴式の両方の特徴を兼ね備えたものです。
TEL 0980-77-4947 (宮古島市教育委員会)
<http://www.okinawainfo.net/miyako/nakasonetomi.html>



那覇市



ふくしゅうえん 福州園

中国から取り寄せた資材で建設された中国式庭園。那覇市の市制施行 70 周年と、琉球王国時代から交流の深い中国福州市との友好都市 10 周年記念で、1992 年に建てられました。
TEL 098-869-5384

南風原町



おきなわけんこうぶんしよかん 沖縄県公文書館

沖縄に関する公文書や地域資料を閲覧することができます。琉球王国時代、廃藩置県から沖縄戦、アメリカの統治時代、本土復帰後の時代を網羅しています。文書はもちろん、写真資料、地図や図面、映像資料などもあります。
TEL 098-888-3875
<http://www.archives.pref.okinawa.jp/>



南城市



がんにゅうえき・なんじょう がんにゅう駅・南城

青い海と久高島を見渡せる絶景ポイントにある観光拠点施設。世界遺産「斎場御嶽」に関する資料の展示・映像上映があり、事前に学習することができます。トイレ・ロッカー・休憩コーナーも完備しています。
TEL 098-948-4660
<http://okinawa-nanjo.jp/station/>



久米島町



くめじまはくぶつかん 久米島博物館

久米島は進貢貿易が盛んだった琉球王国時代、航路上の要所として重要な役割を担いました。館内には島の歴史や生活文化、自然についての展示があり、久米島を総合的に学ぶことができます。
TEL 098-896-7181
<http://sizenbunka.ti-da.net/>



渡嘉敷村



とかしきそんりつれきしきんぞくしりようかん 渡嘉敷村立歴史民俗資料館

島の生活史や昔の生活文化をじっくり鑑賞できる場所。日本では貴重なザトウクジラの骨格標本も展示しています。ザトウクジラが方向感覚を失い、海岸に打ち上げされたものが標本になったそうです。
TEL 098-987-2120 (渡嘉敷村教育委員会 教育課)

伊平屋村



いへやそんれきしきんぞくしりようかん 伊平屋村歴史民俗資料館

村に残る遺跡の数々や出土品からは、私たちの先祖が古代から中世にいたる長い時間をかけて、日本列島から琉球弧づたいに南下してきた足跡がわかります。資料館を見学して伊平屋の暮らしと歴史を辿りましょう。
TEL 0980-46-2384





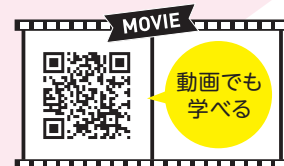
沖縄の

平和

について学ぼう

沖縄戦で多くの尊い命を失った沖縄。

本島南部には、戦争当時使われた陣地壕や、住民が避難したガマ、慰霊の塔などの戦跡が多く残り、県内外の児童生徒たちの平和学習などに活用されています。



動画でも学べる

沖縄平和祈念堂
(沖縄県平和祈念公園内)

本島南部には戦跡が多く残っていて平和学習に活用されているよ。



沖縄平和学習の意義と重要性

沖縄本島南部は沖縄戦末期に、日本軍の司令部が移動してきたことから**住民を巻き込んだ戦場**となりました。糸満市の**摩文仁**の岸壁は、追いつめられた人々が自決をしたことから、米軍に**スーサイドクリフ**(自殺の断崖)と呼ばれていました。ここには犠牲となった人たちの**慰霊の塔**が建っています。戦後**摩文仁の丘**は「**沖縄県平和祈念公園**」として一帯の戦跡とともに**沖縄戦跡国定公園**となりました。人間の尊厳を第一に戦争につながる一切を否定し、平和を求め文化を愛する心が息づいた場所になっています。



沖縄県平和祈念公園

沖縄にとって特別な日

6月23日は、1945年の沖縄戦のさなかに牛島司令官の自決により司令部が壊滅し、日本軍の組織的戦闘が終わったとされる日です。この日を沖縄では「**慰霊の日**」と定め、多くの尊い命を失った歴史事実に鑑み、こうした惨禍が再び起こることのないよう、全戦没者の冥福と世界の**恒久平和を祈念する日**としています。毎年、慰霊の日には、平和祈念公園で世界の恒久平和を願う**沖縄全戦没者追悼式**が開かれ、身内を亡くした沖縄戦犠牲者の遺族やその子孫が慰霊に訪れます。式典中の正午には、戦没者の冥福と恒久平和を願い、**黙祷**が捧げられます。平和の礎の中心を通るメイン園路は、慰霊の日の**日の出の方角**に向けて延びており、園路の両サイドに刻銘碑が立ち並んでいます。

日・米・英・韓・台の5ヶ国・地域の戦没者を表すサーチライト



沖縄県平和祈念公園ってどんなところ？

沖縄戦終焉の地となった糸満市摩文仁にある公園。約40ヘクタールの広大な敷地内には、国立沖縄戦没者墓苑や各都道府県の慰霊塔・碑があり、戦没者への慰霊を捧げるとともに、平和の尊さを体感する場所となっています。



沖縄戦に関する資料を展示

1 沖縄県平和祈念資料館

住民による数々の証言を中心に、映像、写真、実物資料などを展示しています。沖縄戦だけでなく、当時の社会背景や歴史もあわせて体系的に学べ、小さな子どもが楽しみながら学べる施設もあります。
Tel 098-997-3844



すべての戦没者の名前を刻む

2 平和の礎

沖縄戦終結50周年を記念して建設されました。軍人や民間人、そして、国籍の区別なく、沖縄戦で亡くなられたおよそ24万人すべての人々の氏名が刻まれています。戦没者の冥福を祈り、世界の平和を願うために建てられました。
Tel 098-997-2765

(平成30年6月23日現在)

平和の礎 刻銘者数	
沖縄県出身	149,502人
県外出身	77,436人
外国人	14,587人
合計	241,525人

平和の礎にはアメリカの他、外国人の名前もあり、それぞれの母国語で表記されているよ



霊域ゾーン

本園東南部一帯の丘陵地で面積約12ヘクタール。沖縄戦で最後の激戦地となった場所であり、国立戦没者墓苑や各県の慰霊塔が建立されています。



黎明の塔

摩文仁岳の西端に建つ、旧日本軍第32軍司令官牛島満中将と参謀長長勇中将の慰霊塔です。



世界平和を訴える白亜の堂

3 沖縄平和祈念堂

平和への祈りと戦没者追悼の象徴として建てられた白亜の堂。山田真山画伯が18年余の歳月をかけて原型を制作した沖縄平和祈念像が安置されているほか、日本洋画壇の巨匠たちから贈られた作品を展示する美術館も併設しています。
Tel 098-997-3011 (管理事務所)

犠牲になった生徒たちの慰霊碑

4 全学徒隊の碑

沖縄戦では、全21の師範学校・中等学校の生徒たちが戦場に動員され、激しい戦火の中で多くの生徒が犠牲になりました。このことを広く後世に伝え、世界の恒久を願うため「全学徒隊の碑」が建立されました。
Tel 098-866-2428 (沖縄県保護・援護課)



動画で学徒体験者の証言を見ることが出来るよ





地域・平和ガイド等 一覧

● 沖縄県観光ボランティアガイド友の会 TEL.098-856-6441 FAX.098-856-6565 壕(ガマ)や「平和の礎」などの戦跡、嘉数高台やカデナ基地など米軍基地周辺の案内、沖縄戦体験者による講話の他、首里城など世界遺産、史跡を案内する歴史ガイドも行います。	● 中城村文化財案内人サークル「グスクの会」 TEL.098-935-5719 FAX.098-935-1146 (中城城跡共同管理協議会) 第二次大戦の戦禍をまぬがれ、県内でもっとも原型をとどめている世界遺産・中城城跡を中心に1時間程、案内します。
● 沖縄平和ネットワーク TEL.098-886-1215 FAX.098-882-2777 / 098-993-7517 事前学習の相談、案内の他、事後学習を続けるために学校と一緒に平和学習を創りあげてくれるお手伝いをします。	● NPO法人 うらそい歴史ガイド友の会 TEL.098-874-9345 FAX.098-874-9345 浦添城跡の探索や、浦添から首里までの道を歩きながら、史跡や文化財を案内します。沖縄戦の激戦地・前田高地を学ぶコースもあります。
● 沖縄県平和祈念資料館友の会 TEL.098-997-3844 FAX.098-997-3947 沖縄県平和祈念資料館と連携しながら平和学習や講話、戦跡のガイドを行います。	● NPO法人 自然体験学校 TEL.098-998-0330 FAX.098-998-3808 生徒動員された「白梅学徒隊」の足跡をたどるコースや、自然洞穴(ガマや壕)を見学するなど、当時の状況を肌で感じ、平和について考えます。平和学習は基本的に団体のみの受け入れとなります。※事前にFAXで申し込み
● ひめゆり平和祈念資料館 TEL.098-997-2100 FAX.098-997-2102 「次世代の平和講話」(約45分)。元ひめゆり学徒隊の体験や思いを聞いてきた職員が、沖縄戦の体験や戦後の気持ち、平和への思いを伝えます。※要予約	● 那覇まちま〜い TEL.098-860-5780 FAX.098-860-5777 首里城や牧志公設市場など那覇の歴史文化を楽しむ学べるコースや、朗読劇鑑賞プラス戦跡をたどる平和学習など、多彩なコースがあります。
● 南風原平和ガイドの会 TEL.098-889-7399 FAX.098-889-0529 (南風原町立南風原文化センター) 沖縄陸軍病院南風原壕群20号を案内し、平和学習を中心に行っています。	● NPO法人 那覇市街角ガイド TEL.098-860-5960 FAX.098-860-5961 世界文化遺産の首里城をはじめ、魅力いっぱいの那覇市を詳しく、楽しく案内します。17のコースを用意しています。
● 対馬丸記念館 TEL.098-941-3515 FAX.098-863-3683 事前に予約連絡をすれば、記念館内の展示物等の説明が受けられます。	● 糸満市観光協会観光ガイドの会 TEL.098-840-3100 FAX.098-987-1278 (糸満市観光協会) 地元の観光ガイドが糸満の様子や背景、昔の伝説などを交えた話とともに糸満市内を案内します。
● 今帰仁グスクを学ぶ会 TEL.0980-56-4406 FAX.0980-56-1056 今帰仁村グスク交流センターを起点に、世界遺産・今帰仁城跡やその周辺遺跡、集落などを1〜2時間くらいで案内します。※要予約 (1人500円、5人以上で2500円)	● ひまわりバスガイドセンター TEL.098-875-5254 FAX.098-875-5265 県内の観光地や史跡を案内してくれます。車内では民謡や踊りを披露することもあります。
● うるま市史跡ガイドの会 TEL.098-978-7373 FAX.098-923-2179 勝連城跡の案内およびうるま市内文化財を有料で案内します。予約制ですので、一週間前までに申し込んでください。	● アブチラガマ (糸数壕) TEL.098-852-6608 FAX.098-852-6466 (南部観光総合案内センター) 南風原陸軍病院分室として利用されたガマで過ごした、ひめゆり学徒、負傷兵、住民についての説明を行います。ガマの中には井戸やカマド、遺物が残っています。
● 地域ガイド(風の会) TEL.098-982-8739 FAX.098-982-8713 「沖縄の過去・現在・未来を見つめて」というテーマの平和講話とフィールドワークの他、世界遺産喜味城跡ユンタンザミュージアムのガイドなど、歴史文化の多種多様なコースがあります。※要予約	

※時間・料金については、事前にお問い合わせください。

事前学習教材ガイド

沖縄関連書籍一覧

- **《平和・戦争》**
 - 平和のためのガイドブック沖縄／あけぼの出版社
 - 新 歩く・見る・考える沖縄(沖縄平和ネットワーク編)／沖縄時事出版
 - 沖縄の戦争遺跡(沖縄県平和祈念資料館編)／沖縄時事出版
 - 沖縄の戦跡ブック ガマ(沖縄県高教祖教育資料センター「ガマ」編集委員会編)／沖縄時事出版
- **《歴史》**
 - 高等学校 琉球・沖縄史／新成俊昭
 - 戦後をたどる「アメリカ世」から「ヤマトの世」へー那覇市史 通史編第3巻(現代史)改題ー(那覇市歴史博物館編)／琉球新報社
- **《文化》**
 - やさしくまとめた沖縄の歴史／沖縄文化社
 - 新編沖縄の文学(高教組教育資料センター) 監修:波照間永吉(沖縄県立芸大教授)／沖縄時事出版
 - 沖縄の祭り行事／比嘉政夫

沖縄関連映像資料一覧

- 沖縄戦 未来への証言(58分)DVD
沖縄戦の証言(35分)DVD
ドキュメント沖縄戦(57分)DVD
軍隊がいた島〜慶良間の証言〜(完全版55分/普及版32分)DVD／販売
沖縄県学校用品株式会社 TEL.098-867-3683
- 清ら島 沖縄〜摩文仁からのメッセージ〜(30分)／貸出無料
沖縄平和祈念堂 TEL.098-997-3011
- GAMA-月桃の花(110分)／有料放映(有)ジー・ジー・エス TEL.098-946-6663
- 環境学習用資料(DVD・VHS)／貸出無料
沖縄県地域環境センター TEL.098-933-4190
<http://www.kodomo.city.okinawa.okinawa.jp/page/kankyo/kankyo.html>
- ふじ学徒隊(48分)／貸出有料
株式会社 映像製作 海燕社 TEL.098-850-8485
<http://www.kaiensha.jp/>
- 17歳の別れ -語り部 元女子学徒隊 宮城巳知子(111分)／有料上映
株式会社サイズ <http://size.com>

知ろう 平和の尊さを伝える「平和ガイド」インタビュー

私たち「沖縄県観光ボランティアガイド友の会」は、沖縄戦で避難壕として使われたガマ(自然洞窟)や慰霊碑などの戦跡、米軍基地の案内、また戦争体験者の講話などを行ってきました。沖縄戦では皆さんと同じ10代の子もたちが「学徒隊」として戦場に駆り出され、女子生徒は戦場の病院で看護婦さんの手伝いを、男子生徒は兵隊の手伝いをしました。戦争末期になると、命令されるまま爆弾を持って戦車に突っ込んで死んだ生徒もいました。彼らは「もっと勉強したい」「もっと生きたい」「お母さん」など、口々に叫びながら亡くなったと聞きます。

沖縄戦を通じて「命どう宝(ヌチドツカカラ)＝命ほど大切なものはない」という言葉を私たちは実感します。若い皆さんに伝えたいのはそのことと戦争の実態です。戦争は破壊ばかりで何も生み出さない、だから何があっても平和を守りたいという沖縄の強い願いを伝えていきます。



沖縄県観光ボランティアガイド友の会



触れて 感じて 学べる 平和スポット

那覇市



つしまるきねんかん
対馬丸記念館

太平洋戦争中に米潜水艦に攻撃され沈没した学童疎開船「対馬丸」の悲劇を伝える施設。犠牲者の遺影や生存者・遺族の証言ビデオなどを閲覧できます。また、近くには犠牲者を弔う「小桜の塔」があります。

TEL 098-941-3515
<http://tsushimamaru.or.jp/>



南風原町



はえはるぶんかせんたー
南風原文化センター

沖縄戦で激しい戦闘があった南風原の様子や、戦後の住民の暮らしなどを紹介しています。町内から世界各国へ移民が多く渡ったことから、移民に関する資料も展示されています。

TEL 098-889-7399
<http://www.town.haeburu.lg.jp/docs/2013022800327/>



嘉手納町



みちのえきでな
道の駅かでな

極東最大の軍事基地「嘉手納基地」に隣接し、基地を一望できるフロアがあります。軽食ブース、特産品販売場もあり、ドライブの休憩所としても数多くの人が訪れます。

TEL 098-957-5678
<https://www.kadena.ryuapta.co.jp>



糸満市



ひめゆりへいわきねんしりょうかん
ひめゆり平和祈念資料館

看護要員として戦場に動員されたひめゆり学徒隊の概要を展示で伝えています。証言映像や手記などを通して沖縄戦の悲惨さや平和の尊さを学べる場です。

TEL 098-997-2100
<http://www.himeyuri.or.jp/JP/top.html>



宜野湾市



さきまびじゅつかん
佐喜真美術館

佐喜真道夫氏が米軍から返還させた先祖の土地に開館。丸木位里・俊夫妻の『沖縄戦の図』をはじめ、「生と死」「苦悩と救済」「戦争と人間」をテーマに約1,000点を収蔵しています。

TEL 098-893-5737
<http://sakima.jp/>



石垣市



やえやまへいわきねんかん
八重山平和祈念館

戦時中、八重山諸島では日本軍により住民がマラリア有病地帯へ強制避難させられ、3,600人余の死者が出ました。このような戦争マラリアの実態を写真やビデオなどで解説しています。

TEL 0980-88-6161
<http://www.pref.okinawa.jp/yaeyama-peace-museum/>



糸満市



こんばくのとう
魂魄之塔

昭和21年2月、住民の手で建てられた沖縄最大の慰霊塔。移住してきた旧真和志村(現那覇市)の金城和信村長らが、散乱する遺骨に胸を痛め、3万5000柱余を祀ったものです。

TEL 098-834-2811 (沖縄県道族連合会)

宜野湾市



かかざたかだいこうえん
嘉数高台公園

沖縄戦で最初に日米両軍の本格的な戦闘が行われた場所です。16日間の戦闘では、日米双方に大きな被害が出ました。展望台からは、普天間基地が見えます。

TEL 098-897-2751 (はごろも PM パートナース)
<http://www.okinawainfo.net/kakazu1.htm>



伊江村



ぬちどつたからん
ヌチドツカカラの家

戦争中の生活用品や遺品、米軍の銃弾など、戦争を記録する反戦平和資料館です。悲しい戦争の体験から平和を願って設立されました。戦争体験講話は事前予約が必要。

TEL 0980-49-3047
<http://www.iejima.org/document/2015011000183/>



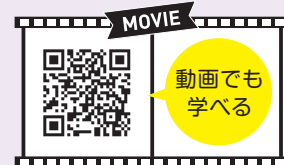


沖縄の

産業

について学ぼう

暖かな気候を利用した農業や
美しい海の恩恵を受けた漁業、
自然や伝統文化を活かした観光業など
沖縄独自の産業について学びましょう。



動画でも
学べる



リゾートウェディング

パイナップル

海ぶどう

泡盛の貯蔵

近年は物流・IT・
科学技術産業にも
力を入れているんだよ。



知ろう 特有の気候や自然が育む産業

沖縄県では温暖な気候を利用した農業、美しい海の恩恵を受けた漁業が盛んに行われています。
産業全体に占める割合はそれほど高くありませんが、他県にはない珍しい農林水産物が流通しています。

温暖な気候と豊かな自然に恵まれた多様な農林水産物

亜熱帯気候に属している沖縄県では、基幹作物であるサトウキビを中心に、ゴーヤーや島らっきょうなどの野菜、パイナップルやマンゴー、パパイアなどのフルーツなど、南国特有の農作物が栽培され、それらを利用した加工食品も多く製造されています。また、キクヤランなどの花卉栽培も行っています。これらの農作物は、本土より早い時期に出荷できるというメリットがある一方で、台風の被害を受けやすく、海外からの輸入品との競合もあります。近年は離島地域を中心に、温暖な気象条件を活かした肉用牛の飼育にも力を入れています。



沖縄県でも漁業が盛んに行われています。県内の漁獲生産量のおよそ半分を占めているのがマグロ類です。通常のマグロ漁は、獲った魚を船ですぐに冷凍しますが、沖縄では近海で獲れるので生のまま水揚げされた新鮮でおいしいマグロを味わうことができます。また、もずくや車エビ、海ぶどうなどの養殖も行われています。特に沖縄のもずくは、全国生産の9割を占めていて、食物繊維やミネラルを含んだ健康食品としても注目を集めています。そんな沖縄の市場では、本土では見られない色鮮やかな魚がたくさん並んで売られています。イラブチャー(ブダイ類)、ブルクン(タカサゴ)など、食べてもおいしい魚です。



知ろう 沖縄県の暮らしを支える観光業

国内有数の観光リゾートとして人気の沖縄県。観光客を誘致する仕事、ホテルや観光施設で接客をする仕事がたくさんあり、観光業は沖縄県全体の経済を支える大きな柱のひとつとなっています。

沖縄の魅力をアピールして人を呼び込み、観光客をもてなす仕事

美しい海に抱かれた沖縄は、国内屈指のリゾート地として発展してきました。海岸線沿いには大型リゾートホテルが立ち並び、海水浴やマリンスポーツを楽しむ観光客でにぎわっています。また、世界遺産の首里城跡や万座毛などの景勝地、伝統文化を体感できるテーマパークなどの見どころも



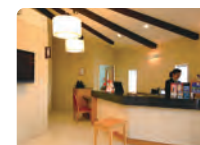
充実しています。さらに沖縄本島以外にも石垣島や宮古島などの個性あふれる島々があり、訪れる人々を魅了してやみません。令和元年は過去最高の1,016万3,900人の観光客が沖縄県を訪れました。

観光客は、ホテルや飲食店、おみやげ店などでお金を使います。平成30年度の統計では、観光客が沖縄で使ったお金は1人当たり平均73,374円、観光収入は総額で約7,340億5,600万円となりました。ここ数年は、航空路線が増えたことや円安効果などにより台湾、韓国、中国、香港からの外国人旅行者が増加しています。令和元年の外国客は、293万人で、前年の0.9%の増となり、国内客同様過去最高となりました。沖縄県は国際的にも注目を集めるリゾート地に成長しつつあるのです。



主な仕事

宿泊客を案内するホテルスタッフや海遊びをサポートするマリンスタッフなど、観光業に関する仕事はいろいろありますが、どの仕事にも通ずるのは“おもてなし”という思いです。



ホテルスタッフ

おもてなしの心を持ち、年齢や性別、国籍も異なるお客様が何を求めているのかを察し、サービスを行います。



マリンスタッフ

海での活動を通して人を楽しませ、癒しを与える仕事。安全に自然を満喫できるサービスを提供します。



スパセラピスト

海辺や森といった豊かな自然を利用し、セラピストによる施術で心と体をリラックスさせてくれます。



通訳案内士

外国人を沖縄各地へ案内し、文化や伝統、生活習慣などを外国語で紹介。通訳とガイドの両方を行います。



アミューズメントスタッフ

観光客を楽しませたり、観光客からの伝統芸能や文化に対する質問に答えるなど、幅広い仕事を行います。



ウェディングプランナー

お客様の希望に合わせたブライダルプランを提案したり、結婚式の準備や演出、撮影などを手伝います。



沖縄ならではの産業を体験してみよう!



塩づくり

沖縄近海の海水100%で製造されたパウダー状の塩「ぬちまーす」。2000年には、世界一多くの種類のミネラルを含む塩としてギネスに認定されました。工場では塩の製造工程を見学することができます。

ぬちまーす製塩観光ファクトリー
(ぬちまーすせいえんかんこうふくとりー)
Tel. 0120-70-1275
<https://www.nuchima-su.co.jp/>



黒糖づくり

サトウキビから黒糖ができるまでの全工程を見学することができます。また体験場では、スタッフから説明をききながら煮詰めた黒糖を型に流し込む作業を体験できます。

沖縄黒糖 (おきなわこくとう)
Tel. 098-958-4005
<http://okinawa-kokuto.co.jp/sisetsu.html>



紅型染め

紅型工房となっている首里琉染では、紅型の展示があり、工房見学もできます。さらに、Tシャツやトートバッグなどから生地を選び、サンゴの断面の模様を利用して色付けをするサンゴ染め体験もあります。

首里琉染 (しゅりりゅうせん)
Tel. 098-886-1131
<http://www.shuri-ryusen.com/>



知 物流・IT・科学技術の拠点を狙って

好調な観光産業に支えられ、成長を続けている沖縄県の経済。情報通信産業の伸びが期待される他、物流拠点の形成を目指した日本とアジアを結ぶ空路・航路の拠点として、さらなる発展を目指しています。

物流の拠点となり、日本とアジアを結ぶ

沖縄県は東アジアの中心に位置するという**地理的優位性**を活かし、**国際的な物流ハブ**となることを目指しています。「ハブ」とは、貨物などを集中させる拠点のこと。ハブとなる空港や湾港を結ぶ路線を充実させることで、輸送効率をアップさせることができますようになります。

沖縄の空の玄関口・**那覇空港**は24時間運用が可能です。貨物専用機を深夜に就航することで、深夜発・翌朝到着というスピーディーなダイヤを実現。夜中に発送した荷物を、翌日の朝にはアジアの主要都市に届けることができるのです。

海の玄関口である**那覇港**でも、国際コンテナターミナルの整備、国際海上コンテナ航路の拡充、総合物流センターの整備を行い、物流拠点の形成を目指しています。さらに、旅客ターミナルを備えた**那覇クルーズターミナル**もオープンし、国際クルーズ船で訪れる外国人観光客の利便性が大幅に向上しています。



国際物流の拠点形成にむけて整備が進む那覇港



船舶を利用した物流システム
(北部拠点港本部港)



アジアのバイヤーと日本全国の
食品事業者が集まる国際商談会

環境を整えて多くのIT企業を呼び込む

沖縄県では2007年より、国内外の情報通信関連産業の一大拠点を狙うビッグプロジェクト「**沖縄IT津梁パーク**」を進めています。「津梁^{しんりょう}」とは、アジアとの架け橋を意味する言葉。うるま市に、プロジェクトと同じ名前の施設を建設し、コールセンターやソフトウェア開発会社など、県内外の企業を誘致しています。

また沖縄県と民間企業が連携した事業として、公設民営のクラウドデータセンターの新設および供用開始、県内データセンター間を相互に接続するネットワーク基盤の拡充、高速・大容量・低価格の沖縄国際情報通信ネットワークの供用開始を含めた、**クラウド環境の整備**を行っています。



大手IT企業が入居する「沖縄IT津梁パーク」

科学技術を通して“知の交流拠点”を目指す

地元に根付き、世界に開かれた“**知の交流拠点**”を目指す沖縄県では、「健康・医療」と「環境・エネルギー」の分野を柱に、**沖縄科学技術大学院大学**（通称・OIST）、**琉球大学**、**沖縄工業高等専門学校**などが中心となり、産官学（産業界、国や地方自治体、大学や研究機関）が連携。この連携によって生み出される研究成果を活用して、新たなビジネスや産業を創り出す「**知的・産業クラスター**」の形成を進めています。また、国内外の研究機関や民間企業等を沖縄県に誘致して、**国際研究ネットワーク**を構築することを推進しています。

さらに人材育成にも力を入れています。沖縄の将来を担う子どもたちに、理数科目のおもしろさや楽しさを体感できる機会を増やしています。科学に対する興味を引き出し、子どもたちが自発的に成長できる環境づくりにも力を入れています。



沖縄科学技術大学院大学のナノ粒子技術研究ユニット（OIST/Togo）



専門的基礎知識を
身につける
沖縄工業高等専門学校



触れて 感じて 学べる 産業スポット

東村



ひがしそんかんこうすいしんきょうざい

東村観光推進協議会（漁業・農業体験）

ボートで沖に出て行き、雄大な太平洋を望みながら、沖縄で食材として人気のイシミーバイ（ハタの一種）釣りを体験できます。また、東村の特産であるパイナップルの収穫などの農業体験を通して、普段口にしている農作物のありがたさを感じることができます。

TEL 0980-51-2655 <http://higashi-kanko.jp/>



糸満市



りゅうきゅうがらすむら

琉球ガラス村

「つくる×まなぶ×たのしみ」吹きガラス体験をはじめ、メニュー豊富なワークショップ。ギャラリーやガラスの自由研究室など特別な体験や学びがたくさん！1,000種類以上のガラス製品が並ぶショップも必見！

TEL 098-997-4784
<https://www.ryukyu-glass.co.jp/>



八重瀬町



はいがらすびんりサイクルトリム

廃ガラスびんリサイクル トリム

廃ガラスびんを原料にガラスとは形状・性質の全く違う人工軽石（スーパーソル）を製造する過程を見学。沖縄発のオンリーワン技術を全国そして世界に向けて発信しています。

TEL 098-998-6023
<https://www.trim.co.jp/factorytour>



南城市



おきなわワールドない はたおりこうぼう

おきなわワールド内 機織工房

趣きある赤瓦屋根の民家でロートン織や花織など、伝統的な織技法を用いた機織体験ができます。色とりどりの糸を使ったしおりやコースター作りが人気です。

TEL 098-949-7421
<https://www.gyokusendo.co.jp/okinawaworld/>



読谷村



よみたんそんぎょきょうどうくみあい

読谷村漁業協同組合（漁業体験）

県内最大の大型定置網漁が体験できる都屋漁港。定置網漁とは、海に網を設置して回遊してくる魚を誘い込んで漁獲する漁法のこと。定置網の仕組みや漁師の作業を間近で見ることができます。

TEL 098-956-1640
<http://www.yomitangyokyou.com/>



恩納村



おんなそんかんこうきょうかい

恩納村観光協会（サンゴ再生コース）

沖縄県では官民一体となり様々なサンゴ再生プロジェクトに取り組んでいます。このコースは自然環境について学び、実行する心を育む体験学習です。

TEL 098-966-2893
<http://www.onnnavi.com>



恩納村



こくりつけんきゅうかいはいつほうじんうちゅうこうけんきゅう
かいはいつこう おきなわうちゅうこうしんじょ

**国立研究開発法人宇宙航空研究
開発機構 沖縄宇宙通信所**

パラボラアンテナや人工衛星を開発する際に製作された試験機、ロケットの打上げ映像の視聴など、宇宙に関する情報を自由に見学することができます。

TEL 098-967-8211 FAX 098-983-3001
<http://fanfun.jaxa.jp/visit/okinawa/>



大宜味村



おおぎみまるとつーリズムきょうかい

**おおぎみまるとツーリズム協会
（農業体験）**

大宜味村の農家で半日農業体験や一日農業体験（昼食付き）ができます。やんばるフルーツの収穫体験や、農業や化学肥料を使わない自然農法体験などプログラムも様々です。

TEL 0980-44-1960
<http://ogimi-tourism.com/>



テーマ別 体験モデルコース

班別行動は、興味のある場所を訪れるチャンス！

自然や文化、平和など、モデルコースを参考に自分ならではの沖縄を体験してみよう！

※宿泊施設は那覇市内を設定しています。

自然環境

豊かな自然を体感し
環境問題を考える

豊かな自然が残る沖縄の森では、本土では見ることができない亜熱帯気候特有の貴重な動植物に出会うことができます。美しい海や森を守るための人々の取り組みを知り、自然を身近に感じてみましょう。



宿 宿泊施設出発
8:30頃



車で
100～120分

北部



やんばる野生生物保護センター
ウフギー自然館

ノブチゲラやヤンバルクイナなど、野生生物の展示資料や映像が豊富です。

国頭村 詳細 P15



亜熱帯の森でトレッキング
(おおぎまると観光協会)

ヒカゲヘゴやクワズイモなど本土とは違う巨大植物が生い茂るやんばるの森を歩こう。

大宜味村 詳細 P13



車で
30～60分

中部



沖縄こどもの国

約150種類の動物に合えるほか、展示物に触って遊べるワンダーミュージアムも。

沖縄市 詳細 P14



ビオスの丘

水牛車散歩、カヌー体験、動物たちとのふれあいなどが楽しめる亜熱帯植物園。

うるま市 詳細 P14



さんご畑～陸上のサンゴ礁～

サンゴの生態を活用した養殖技術を体験することで、サンゴの生態と尊さを学びます。

読谷村 詳細 P14



東南植物楽園

約1,300種類の植物が生育する植物園で、珍しい熱帯・亜熱帯の植物を観察しよう。

沖縄市 詳細 P14



車で
90～100分

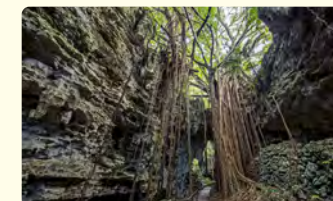
南部



漫湖水鳥・湿地センター

渡り鳥の中継地・越冬地である漫湖では、たくさんの野鳥を観察できます。

豊見城市 詳細 P14



ガンガラーの谷

鍾乳洞やガジュマルの大木、古代人の痕跡が残る遺跡などを見て歩きましょう。

南城市 詳細 P14



宿 宿泊施設
到着

歴史・文化

琉球から沖縄へと続く
歴史と文化に触れる

アジア各国との交流の中で生まれてきた沖縄独自の歴史や食文化、伝統工芸など。それらに触れることにより、歴史を振り返り、新しい文化を創造する力が学べることでしょ。



宿 宿泊施設出発
8:30頃



車で
60～100分

北部



世界遺産 今帰仁城跡

石垣の城壁が見事な沖縄屈指の名城跡を見学。桜の名所としても知られています。

今帰仁村 詳細 P23



沖縄体験ニライカナイ

エイサー体験、三線体験、シーサー作りなどを通して、沖縄の文化を学びましょう。

恩納村 詳細 P21

中部



世界遺産 座喜味城跡

曲線を描いた分厚い城壁、アーチ型石門など石造技術の高さを実感させます。

読谷村 詳細 P23



体験王国 むら咲むら

吹きガラス、紅型染め体験など、32の工房で101のプログラムを体験できます。

読谷村 詳細 P20



車で
30～60分

南部



那覇市第一牧志公設市場

独特の魚や野菜が間近に見学でき、購入した食材を調理してもらうことも可能です。

那覇市 詳細 P17



那覇市ぶんかテンブス館

沖縄の芸能や歴史について学べる鑑賞プログラムや、さまざまな体験メニューも充実。

那覇市 詳細 P20



沖縄空手会館

体験教室では、空手の礼儀作法や基本動作を中心に学ぶことができます。

豊見城市 詳細 P20



宿 宿泊施設
到着



現代版組踊の世界を体感しよう！



「現代版組踊」とは、琉球王国時代に生まれた古典芸能「組踊」を現代風にアレンジし、新たに琉球舞踊、エイサー、空手などを盛り込んだ独創的な舞台です。「沖縄型感動交流ステージ」では、エンターテインメント性あふれる斬新な舞台を鑑賞できます。

連絡先 一般社団法人 TAO Factory (タオファクトリー)
TEL : 098-983-0144
URL : <http://www.tao-factory.com/>



車で
60～100分

テーマ別 体験モデルコース

宿
宿泊施設出発
8:30頃

車で40分

平和

命の尊さと情報の重要性を学ぶ

3ヵ月にわたる戦闘があった沖縄。学生たちはなぜ戦場へ行ったのか?戦跡を訪れ、命の尊さや平和、そして情報の重要性について学びます。



産業

いろいろな体験を通して
未来の自分を想像する

農業や漁業、工芸、製造業など、沖縄ではさまざまな職種の体験や見学をすることができます。この経験を活かして、将来、やってみたいことや就きたい職業のヒントを見つけてください。

宿
宿泊施設出発
8:30頃

車で120分



南部



沖縄県平和祈念資料館

展示や模型、映像を通して沖縄戦を知り、平和について考えてみましょう。

糸満市 詳細 P31



ひめゆり平和祈念資料館

看護要員として戦場に動員されたひめゆり学徒隊の概要を展示で伝えています。

糸満市 詳細 P33



アブチラガマ(糸数壕)

近隣住民約200名が避難し、陸軍病院として使用されるなどした洞窟の内部を見学。

南城市 詳細 P25

那覇近郊



旧海軍司令部壕

沖縄戦において、日本海軍沖縄方面根拠地帯司令部のあった壕跡を見学できます。

豊見城市 詳細 P25



対馬丸記念館

生存者・遺族の証言ビデオなどで学童疎開船「対馬丸」の悲劇を伝える施設です。

那覇市 詳細 P33



沖縄陸軍病院南風原壕群20号

ひめゆり学徒らが負傷兵の治療にあたった陸軍病院跡の壕の一部が公開されています。

南風原町 詳細 P25

北部



農業体験

(おおぎまるとツーリズム協会)

やんばるフルーツ収穫体験や、農業や化学肥料を使用しない自然農法を学ぼう。

大宜味村 詳細 P37

中部



塩づくり体験

(ぬちまーす製塩観光ファクトリー)

世界一多くの種類のミネラルを含む塩「ぬちまーす」の製造工程を見学できます。

うるま市 詳細 P35

南部



紅型染め体験(首里琉染)

紅型染めの工房見学や、サンゴの断面の模様を利用して色を付ける体験もできます。

那覇市 詳細 P35



漁業体験(東村観光推進協議会)

沖縄で食材として人気のイシミーバイ(ハタの一種)釣りを体験できます。

東村 詳細 P37



漁業体験(読谷村漁業協同組合)

魚を誘い込んで獲る定置網漁の仕組みや漁師の仕事を間近で見られます。

読谷村 詳細 P37



廃ガラスびんリサイクルトリム

廃ガラスびんを人工軽石に変える、世界的に注目されているリサイクル技術を見学。

八重瀬町 詳細 P37



宿
宿泊施設到着

宿
宿泊施設到着



参考資料 琉球と沖縄県の主な出来事が分かる

歴史年表

時代 王統	沖縄の主な出来事	日本の主な出来事
グスク時代 第一尚氏王統 第二尚氏王統	714 ●奄美・信濃・琉球等の南島人來朝 753 ●唐僧鑑真、阿児奈波島に漂着	743 ●聖武天皇私財法 894 ●唐唐使廃止
	1187 ●興天即位 1250 ●大飢饉・疫病で人民多数死亡	1185 ●源頼朝、鎌倉幕府開く 1203 ●北条氏による執権政治
	1260 ●英祖即位	1274 ●文永の役(元寇) 1281 ●弘安の役(元寇) 1333 ●鎌倉幕府滅亡 1338 ●足利尊氏、室町幕府を開く
	1322 ●北山・中山・南山の三つに分かれる	1404 ●勘合貿易はじまる
	1350 ●察度即位 1372 ●中山の察度王、明に進貢する	1411 ●義持、明との国交断絶 1428 ●正長の土一揆 1432 ●義教、勘合貿易再開 1467 ●応仁の乱おこる
	1406 ●尚巴志、中山王武寧を滅ぼし父恩紹を王とする 1429 ●尚巴志、南山を滅ぼして三山を統一する 1458 ●豊佐丸・阿麻和利の乱おこる ●万国津梁の鐘を首里城正殿にかける	
	1470 ●金丸、王位につき尚円と称し、第二尚氏王統開く 1480 ●中国伝来の技法で首里花織が織られる 1501 ●玉殿を築く 1519 ●園比屋武嗣・石門創建 1531 ●「おもろさうし」第一巻編集 1571 ●奄美大島を支配下に置く 1609 ●島津の支配下におかれ、幕藩体制に組み込まれる	1543 ●種子島に鉄砲伝来 1549 ●ザビエル、キリスト教を伝える 1573 ●室町幕府滅亡 1582 ●本能寺の変で信長殺害される 1585 ●秀吉、関白となる 1600 ●関が原の戦い 1603 ●家康、征夷大将軍となる 1629 ●長崎で蘭船始まる 1649 ●慶安のお触書
	1623 ●儒廟異常、はじめて黒糖を製造する 1636 ●キリスト教宗門改はじまる 1637 ●宮古・八重山に人頭税課せられる 1731 ●薩摩から製陶の技術伝わる 1749 ●このころの人口20万人と伝わる 1853 ●ペリー来航。 日本への開国の足がかりとする	1716 ●享保の改革 1732 ●享保の大飢饉 1782 ●天明の大飢饉 1787 ●松平定信、老中となり寛政の改革始める
	1872 ●琉球王国から琉球藩となり鹿児島県のもとに置かれる 1873 ●ドイツ商船宮古沖で遭難、乗組員を救助 1879 ●日本政府、[琉球処分]を断行。沖縄県を設置(廃藩置県)	1841 ●天保の改革 1854 ●日米和親条約結ぶ 1858 ●日米修好通商条約結ぶ 1860 ●桜田門外の変 1867 ●大政奉還で王政復古 1871 ●鹿藩置県 1877 ●西南戦争起こる
	1882 ●第一回農務留学生派遣 1888 ●人口37万4698人 1892 ●宮古で人頭税廃止運動おこる 1894 ●日清戦争勃発で県内混乱 1897 ●蘭切・島番所を役場に改称 1899 ●海外移民始まる 1900 ●人口46万5470人 1903 ●人頭税廃止 1909 ●初の県議会議員選挙実施 1910 ●那覇市に電話開通	1882 ●日本銀行開業 1885 ●内閣制度制定 1889 ●大日本帝国憲法発布 1890 ●府県制・郡制制定、第1回帝国議会開会 1895 ●下関条約締結、三国干渉 1902 ●日英同盟(第1次)成立 1904 ●日露戦争 1905 ●ポーツマス条約調印 1909 ●伊藤博文、ハルビンで暗殺 1911 ●日米新通商航海条約(関税自主権回復)
明治	1914 ●那覇一与那原間に軽便鉄道開通 1920 ●市町村制・府県制の特例撤廃で本土並の地方制度となる 1921 ●沖縄初のメーデー行われる 1923 ●県外出稼者多くなる 1924 ●ソビエト連邦始まる 1925 ●人口55万7993人	1914 ●第1次世界大戦 1918 ●富山県で米騒動起きる 1919 ●ベルサイユ条約調印 1921 ●ワシントン会議に参加 1923 ●関東大震災おこる 1925 ●普通選挙法・治安維持法が成立
	1926 ●宮古・八重山島庁をそれぞれ支庁と改称 1935 ●人口59万2239人 1940 ●[沖縄日報][沖縄朝日新聞][琉球新報]が統合され、[沖縄新報]となる(一県一紙) 1945 ●米軍の沖縄上陸。沖縄戦始まる ●日本軍降伏文書に調印 1948 ●通貨をB軍票(B円)に切り替え 1952 ●琉球政府発足 1959 ●石川市宮森小中学校に米軍機墜落(死者17人、負傷者121人)	1928 ●最初の普通選挙が行われる 1931 ●満州事変 1933 ●国際連盟脱退 1937 ●日中戦争 1940 ●日独伊三国軍事同盟 1941 ●太平洋戦争開戦 1945 ●広島・長崎に原爆投下 ●ポツダム宣言受諾。 日本の敗戦
	1961 ●コザで米兵がひき逃げ、少女4人死亡 1962 ●嘉手納村に米軍輸送機墜落 1970 ●戦後初の国会議員選挙実施 1972 ●沖縄が日本に復帰する 1974 ●郵政省で選挙の日(6・23)制定 1975 ●沖縄国際海洋博覧会(海洋博)開催 1978 ●交通方法変更が実施される(730) 1982 ●嘉手納基地周辺の住民被害訴訟起こす	1946 ●日本国憲法公布(47施行) 1951 ●サンフランシスコ講和条約、世界遺産に登録される 1960 ●日米安全保障条約調印 1964 ●安保反対闘争激化 1970 ●日本万国博覧会(大阪万博) 1973 ●石油危機 1978 ●日中平和友好条約締結 1980 ●人口1億1705万7485人 1989 ●消費税実施
	1990 ●世界のウチナーンチュ大会開催(第一回) 1992 ●復帰20周年記念事業―首里城復元 1995 ●米軍人による少女乱暴事件に対し県民総決起大会が開かれ8万5千人が集結 2000 ●第26回主要国首脳会議(九州・沖縄サミット)開催 ●[琉球王国のグスク及び関連遺産群]が世界遺産に登録される 2003 ●那覇空港―首里間に沖縄都市モノレール(ゆいレール)が開通 2004 ●沖縄国際大学に普天間飛行場所所属のCH53大型ヘリが墜落炎上 2006 ●在日米軍再編決定 ●尚家文化財1251点、国宝に。戦後初の指定 2007 ●文科省の高校歴史教科書検定で沖縄戦における「集団自決」で日本軍強制の記述が削除・修正された問題で意見の撤回を求める県民大会が宜野湾海浜公園で開催され、11万6千人が参加(主催者発表) 2010 ●沖縄県米軍普天間飛行場の県内移設に反対し、読谷村で県民大会。主催者発表で9万人参加 2012 ●沖縄は、本土復帰から40年を迎えた 2013 ●新石垣空港開港 2014 ●慶良間諸島、国立公園に指定 2015 ●伊良部大橋、開通 2016 ●名護市の海岸に米軍普天間飛行場所所属のオスプレイが墜落 2017 ●名護市辺野古の新基地建設で護岸工事が始まる ●観光客数900万人台を突破	1993 ●東京サミット 1994 ●関西国際空港開港 1996 ●広島島の原爆ドームと厳島神社が世界遺産に登録される 1998 ●冬季オリンピック長野大会 2006 ●WBC、初代ワールド・ベースボール・クラシック優勝 2007 ●愛知万博開催 2008 ●洞窟湖サミット開催 2009 ●21世紀でもっとも継続時間の長い皆既日食を観測 2010 ●NASAが山崎直子さんを乗せたスペースシャトル「ディスカバリー」を打ち上げ 2011 ●東日本大震災、死者・不明者約2万人 ●サッカーの第6回女子ワールドカップで「なでしこジャパン」が初優勝 2012 ●東京スカイツリーが開業 ●ノーベル生理学・医学賞を京都大学教授山中伸弥が受賞 2015 ●戦後70年 2016 ●熊本地震 2017 ●天皇陛下下の19年4月末退位を実現する特例法が成立
平成		